

2005 年度
日本学生オリエンテーリング選手権大会
個人ロング・ディスタンス競技部門
プログラム
(要項 3)



期日 2005 年 (平成 17 年) 11 月 5 日 (土)~6 日 (日)

場所 愛知県新城市

- 主催 日本学生オリエンテーリング連盟
主管 2005 年度日本学生オリエンテーリング選手権大会
(個人ロング・ディスタンス競技部門)実行委員会
後援 愛知県・愛知県教育委員会
新城市・新城市教育委員会
社団法人日本オリエンテーリング協会
NPO 法人愛知県オリエンテーリング協会
株式会社 毎日新聞社
協賛 大塚製薬株式会社
株式会社 日本旅行

【目次】

ごあいさつ

大会日程表

1. はじめに

2. インカレ全般情報

- 2.1 立入制限区域について
- 2.2 裁定委員
- 2.3 気象情報
- 2.4 傷害保険
- 2.5 主管者連絡先
- 2.6 その他

3. 交通案内

- 3.1 会場周辺広域図
- 3.2 会場周辺図
- 3.3 自家用車等での来場
- 3.4 バス・公共交通機関での来場
- 3.5 宿泊
- 3.6 問い合わせ先

4. モデルイベント・トレイル-O 【1/5 (土)】

- 4.1 開設期間
- 4.2 使用地図
- 4.3 会場への交通
- 4.4 会場
- 4.5 モデルイベント利用手続方法
- 4.6 モデルイベント内容
- 4.7 モデルイベント注意事項
- 4.8 受付・スタート
- 4.9 地図
- 4.10 コース
- 4.11 テレインプロフィール
- 4.12 競技
- 4.13 フィニッシュ
- 4.14 結果発表・表彰
- 4.15 トレイル-O地図販売、コース開放及びチャレンジについて

- 4.16 その他

5. 個人ロング・ディスタンス競技 【1/6 (日)】

- 5.1 選手村から競技会場への移動
- 5.2 競技会場
- 5.3 配布物
- 5.4 開会式 (競技会場)
- 5.5 競技の流れ (選手権の部)
- 5.6 競技の流れ (一般の部)
- 5.7 競技時間及びゴール閉鎖時刻
- 5.8 弁当配布 (受付)
- 5.9 地図販売および地図返却
- 5.10 表彰式 (競技会場)
- 5.11 閉会式 (競技会場)
- 5.12 未帰還者届の提出 (本部テント)
- 5.13 レンタルe-cardの返却

6. 競技情報

- 6.1 地図について
- 6.2 テレインの概要
- 6.3 コース距離・登距離
- 6.4 e-cardについて
- 6.5 救護所及び給水所
- 6.6 調査依頼及び提訴

7. エントリーリストおよびスタートリスト

- 7.1 チームオフィシャルリスト
- 7.2 ロング参加者数一覧
- 7.3 ロング選手権の部スタートリスト
- 7.4 ロング一般の部スタートリスト
- 7.5 トレイル-O一般の部事前エントリー

8. 歴代優勝者紹介

9. 日本学生オリエンテーリング 選手権大会実施規則

日本学生オリエンテーリング連盟
会長 河合 利幸

この夏、アジア初開催の世界選手権大会は成功裏に終了しましたが、観戦したり併設大会に参加した皆さんはどんな感想をもたれたでしょうか？世界のトップの走りを目の当たりにして「いつかは私も世界の舞台に」と思った人もいるのではないのでしょうか？また、世界のエリート選手たちを身近に感じるよい機会にもなったのではないのでしょうか？日本の若い代表選手たちも活躍してくれました。今後、皆さんの中から後に続く人たちが出てきてくれることを期待したいと思います。

今回のインカレロングは、そんなWOCの余韻の残る愛知のテレインで、しかも季候のよい時期の開催となります。きっと白熱したレースが展開されることでしょう。どんなドラマが待っているのか私も今から楽しみです。

選手の皆さんは準備に余念がないことと思います。今年が最後の機会となる4年生の選手もいれば、初のビッグレースとなる1年生もいます。普通の大会では味わえない、インカレ独特の雰囲気というものもあります。初めての参加者には少し刺激が強い部分があるかもしれませんが、それらも含めて、大いに楽しんでもらえれば幸いです。

一方で、日本のオリエンテーリング界は今、競技人口の減少といふ厳しい状況の中にあることも忘れてはなりません。インカレ参加者数や学連加盟員数はピーク時の半分程度にまで落ち込んでいます。インカレをはじめとする学連の活動を継続していくためには、これ以上の大幅な減少は避けなければなりません。しかし、逆もまた真、インカレが参加者にとって本当に実り多いものであり続けるのであれば、心配することはないのかも知れません。いずれにしても、インカレに対する皆さんの熱意が鍵の一つになるのだらうと思います。

最後になりましたが、多忙な中、準備を整えていただいた実行委員会とその関係者の皆さん、本当にご苦労様でした。そして様々な面でご協力・ご援助いただいた地元関係者の皆様、本当にありがとうございました。主催者の日本学連を代表して、厚く御礼申し上げます。

日本学生オリエンテーリング連盟
幹事長 高橋 元気

いよいよインカレロングの開催が迫ってきました。今年のインカレロングの舞台は、つい先日世界選手権が行われた愛知県です。世界選手権はすごかったですね。自分も勉強を省みず全日程参加してしまいました。

かつて世界の選手が競いあったテレイン、最高精度の地図、そして忙しい合間を縫って私たち学生のためにインカレの運営をして下さっている実行委員の方々。様々な人たちのおかげで、私たちはインカレ当日、最高の舞台で競い合うことができます。日本学連加盟員を代表して、地図をつくって下さった世界選手権大会実行委員の方々、インカレを運営して下さるインカレ実行委員会の方々、そして地元の方々に深く御礼申し上げたいと思います。本当にありがとうございます。

今回のインカレは、当初8月の世界選手権中に行われる予定でした。しかし、学生の意見により、今までと同様の11月開催となったのです。そういった意味で、学生の意見が反映された記念すべきインカレであると言えます。インカレは学生側が主体的に行うイベントです。学生が積極的に提案をすることで、開催日時だけでなく、開催場所や、こういった演出をして欲しいといったことも決めることができます。それが手前勝手なものでなく、本当にインカレのためになることであれば、どんどん提案し、私たちの手でインカレを作り上げていきましょう。そこにはインカレの無限の可能性があります。

最後になりましたが、愛知でみなさんにお会いできるのを楽しみにしています。みんなでインカレを大いに盛り上げましょう。

【あいさつ】

2005 年度日本学生オリエンテーリング
選手権大会ロング・ディスタンス競技部門
実行委員長 永田 秀樹

今年もインカレの時期がやって参りました。

本大会は当初、世界選手権の併設として開催されることになっていましたが、加盟員の皆さんの強い希望により、秋に単独開催となりました。そのため、ほんの 2 ヶ月前に世界選手権が開催されたテレビンでの実施という異例の事態となりましたが、その分、精度の良い地図となっています。また、インカレのために追加調査を行っており、さらに高精度な仕上がりとっております。参加者の皆様には、高精度な地図による高レベルなオリエンテーリングをご堪能いただけるのではないかと考えております。

インカレロングは昨年からの実施ですが、昨年は東日本大会と同時開催であり、インカレロング単独としての開催は、今回が初めてとなります。本大会が盛り上がるか盛り上がらないか、その成否が、今後のインカレがどうなるのかを決めると言っても、過言ではありません。参加者の皆さんの手で、是非、本大会を盛り上げてください。そして、本大会でインカレを楽しんだ方は、次回以降もインカレに参加し、もしくは運営者として裏からインカレを支え、今後のインカレを盛り上げていていただきたいと思っております。皆さんの熱い想いが、インカレを支えていくのです。

本大会は、1～3 年目の OB/OG を中心として運営されています。不慣れなこともあり、参加者の皆様には、なにかとご心配・ご迷惑をおかけいたしました。しかし、当日は万全の準備にて皆様をお待ちしております。ご安心してご参加ください。

最後に、会場や競技で使用する山林への立入を認めていただきました多くの地元の方々、また、本大会の開催にご協力いただきました関係者の皆様に、篤くお礼申し上げます。

【大会日程表】

11月5日 <モデルイベント・トレイルO>

9:30	~	13:00	バス輸送	新城駅
10:00	~	16:00	モデルイベント受付、競技	鬼久保ふれあい広場駐車場
13:00	~	15:00	配布物の配布	鬼久保ふれあい広場駐車場
13:00	~	15:30	トレイルO受付	鬼久保ふれあい広場駐車場
13:00	~	16:00	トレイルO競技	鬼久保ふれあい広場駐車場
	~	16:00	欠場受付、オフィシャル変更受付	2章 6項参照
10:10	~	17:00	バス輸送	鬼久保ふれあい広場駐車場

11月6日 <インカレロング本戦>

7:00	~	9:00	バス輸送	新城駅、下山村
8:00	~		大会会場開場	鬼久保ふれあい広場
8:00	~	9:00	配布物の配布	受付テント
8:30	~	8:50	開会式	鬼久保ふれあい広場
9:30	~	11:00	一般の部競技開始	
10:00	~	12:02	選手権の部競技開始	
11:00	~	12:00	弁当配布	受付テント
12:02	~	15:30	地図返却・地図販売開始	受付テント
	~	12:30	トレイル-O 質問受付、コース開放終了	受付テント
12:30	~	13:00	MEC, WEC競技開始	
		13:00	一般の部ゴール閉鎖	
	~	13:00	未帰還者届提出	受付テント
		14:32	選手権の部ゴール閉鎖	
13:45	~	15:00	表彰式、閉会式	イベントポート前
	~	15:30	レンタル e-card の返却、弁当ゴミの回収	受付テント
15:15	~	17:15	バス輸送	鬼久保ふれあい駐車場

1 はじめに

本大会では要項 2 に記載のとおり 日本学生オリエンテーリング選手権大会 (インカレ)実施規則第 2 条に定められた競技『選手権の部』を実施する。同時に『選手権の部』に出場しない学連加盟員のための競技『一般の部』を併設開催する。各競技クラスに次のような略称を用いることがある。

?個人ロング・ディスタンス競技 (以降『ロング』とも称す。)

選手権の部		一般の部							
ME	WE	MUL	WUL	MUS	WUS	MF	WF	MUB	WUB

本大会では、全競技クラス(トレイル O を除く)において EMIT (ノルウェーEMIT 社製電子パンチングシステム)を使用する。これに伴い、本プログラムでは次のような用語を使用している。e-card の詳細については 6.4 項を参照すること。

使用システム	用語	用語の意味
EMIT	e-card	従来の「コントロールカード」に代わり、コントロールの通過を記録する器具。競技者が手に持って走る。
	アクティベート	スタート前にe-cardをスタートユニットにはめ込み、e-cardを起動させること。
	スタートユニット	競技前にe-cardをアクティベートするための器具。e-cardが正常に作動すればスタートユニット上のランプが赤く光る。
	コントロールユニット	従来の「パンチ」に代わり、コントロールにおいて記印を行うための器具。e-cardをはめ込んで使用する。

その他、本プログラムでは以下のような専門用語を用いている。

用語	用語の意味
パンチングフィニッシュ	計時線通過によるゴール方式と異なり、ゴールを示すユニットにて記印した時刻を正式なゴールタイムとする方式。
レンタル e-card	インカレ実行委員会から貸し出す e-card
My e-card	レンタル e-card 以外の個人所有の e-card

本大会では昨年度に引き続き、一般の部の一種目としてトレイル O 競技を開催し、学生一般の個人表彰および大学表彰 (A クラスの上位 3 名の得点の合計)を実施する。4章に詳細情報を記載している。

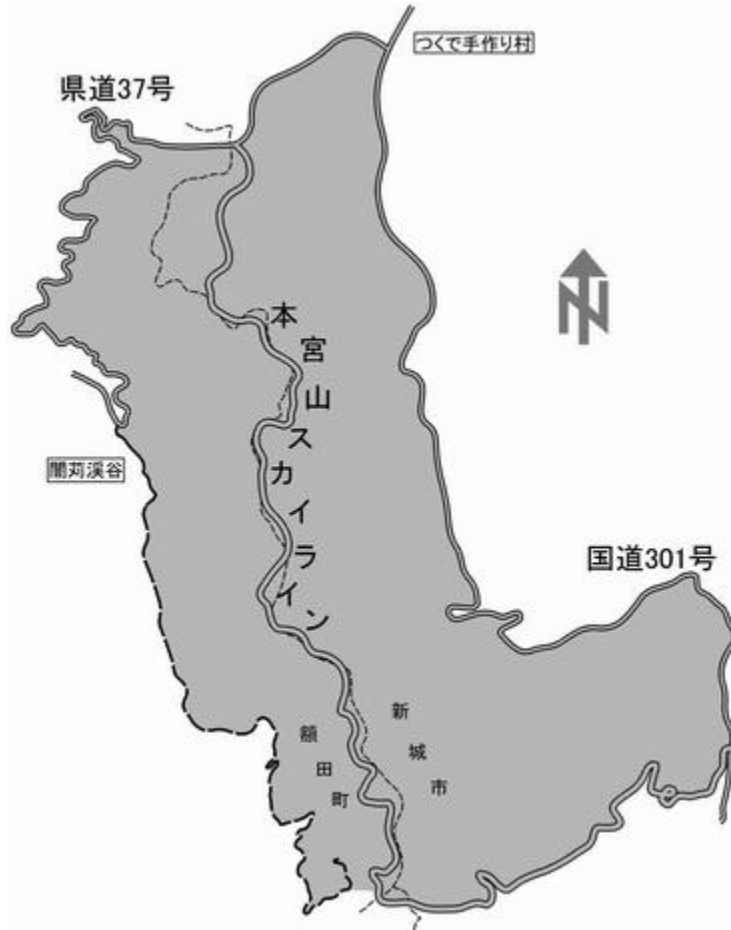


2 インカレ全般について

2.1 立ち入り制限区域について

要項 1 の発行後、2005 年度日本学生オリエンテーリング選手権大会(個人・ロングディスタンス競技部門)に参加を予定しているもの(選手・チームオフィシャル・併設大会参加者)は、以下の地域へのオリエンテーリングを目的とする立ち入りを本大会終了後まで禁止されている。

2005 年 8 月の WOC リレー競技で使用された O-MAP 『作手高原』(旧 『作手高原白鳥』)周辺の、国道 301 号、県道 37 号、本宮山スカイライン、くらが^①渓谷で囲まれる山林(外周道路は通行可能)を立ち入り禁止区域に指定する。以下の地図を参考のこと。



2.2 裁定委員

本大会の裁定委員は当日の公式掲示板にて発表する。

2.3 気象情報

開催地よりほぼ西に20 kmほど離れた岡崎市での観測データである。この時期の三河地方はおおむね晴の天候が続くが、トレイン周辺は岡崎市より山麓で標高も高いため、下記数値より若干気温が低いことが予想される。なお、以下の気象データは気象庁のデータベース (<http://www.data.kishou.go.jp/etrn/index.html>) をもとに作成している。

<岡崎市の過去5年間の気象データ>

年度	2004	2003	2002	2001	2000
11月5日 平均気温()	13.4	17.2	7.8	10.7	16.3
最高気温()	21.1	20.3	10.1	14.1	22.9
最低気温()	6.3	13.9	5.6	6.2	11.8
降水量(mm)	0	1	0	30	0
日照時間(時間)	7.3	0.4	2.3	0	9
11月6日 平均気温()	15.2	17.6	7.5	14.6	15.2
最高気温()	22	21.7	13.3	18.6	21.4
最低気温()	9.4	14.4	2.7	10	11
降水量(mm)	0	11	0	15	0
日照時間(時間)	8.5	1	7.6	4.4	3.9

2.4 傷害保険

本大会では傷害保険に加入している。この保険は、11月6日の開会式～閉会式終了までの間、適用される。怪我などにより治療を受けた場合は、下記に示す保険金が支払われる。

死亡/後遺障害 300万円

入院(日額) 3500円 180日を限度とする

通院(日額):1840円 事故の日から180以内の間で90日を限度とする

モデルイベント・トレイルO(いずれも11月5日)においては、保険が適用されないので注意すること。

この傷害保険についての問い合わせ、保険の請求などについては、(株)日本旅行東京南支店の正能(しょうのつ)まで。連絡先は以下の通り。なお、大会当日は、会場にて待機している。

(株)日本旅行 東京南支店 正能 近藤 Tel XXXXXXXX Fax XXXXXXXX E-mail XXXXXXXX

遠隔地の参加者は、インカレ開催地までの移動が長距離になるため、移動時の事故等に備えて、各自で国内旅行保険に加入することが望ましい(500～1000円程度で各旅行会社、保険会社等で取り扱っている)。

2.5 主管者連絡先

主管者連絡先は以下の通りである。

大会実行委員長 永田 秀樹(ながた ひでき) Tel XXXXXXX E-mail XXXXXXX XXXXXXX できるだけ、E-mailで連絡すること

大会副実行委員長 藤本 佳完 (ふじもと よしまさ)

Tel XXXXXXXX

E-mail XXXXXXXX

XXXXXXXX

できるだけ、E-mail で連絡すること

2.6 選手権変更届・オフィシャル変更届

選手権変更届・オフィシャル変更届は、上記連絡先に提出すること。

提出期限は、11月5日の16:00である。

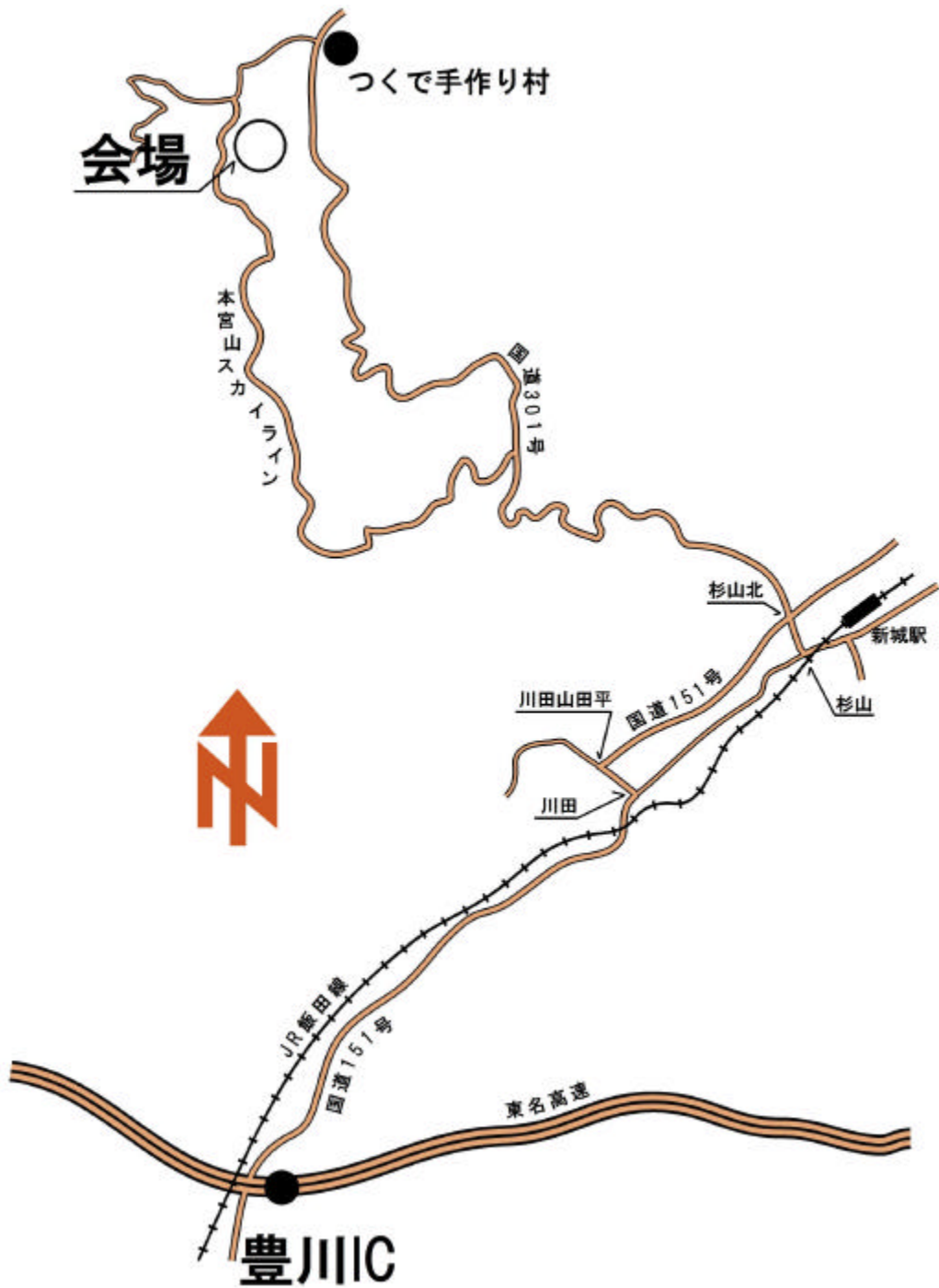
2.7 その他

- 競技時間中 (8:00 ~ 15:00) は、携帯電話・PHS 無線機を競技に関する情報伝達のために使用することを禁止する。
- 競技会場 (スタート地区などを含む) では、下記のものを見ること及び取り出すことを禁止する。そのような行為が発覚した場合は、失格などの措置をとる場合がある。
 - 要項1発表における立入制限区域内の地図、及びそれに類するもの (コピー・写真・イラストなど)、ただし以下のものは除く。
 - ・これまでに発行された本大会要項
 - ・併設大会プログラム
 - ・大会前日に開催される個人トレイルの競技使用地図
- 大会期間中は、競技会場 (スタート地区も含む) は全面禁煙とする。
- 大会期間中は、競技会場 (スタート地区も含む) では飲酒やアルコール等を用いた行為を全面禁止とする。
- すべての競技者及びチームオフィシャルは、競技より優先される不慮の事故が生じた場合は最寄りの役員に連絡すること。

3 交通案内

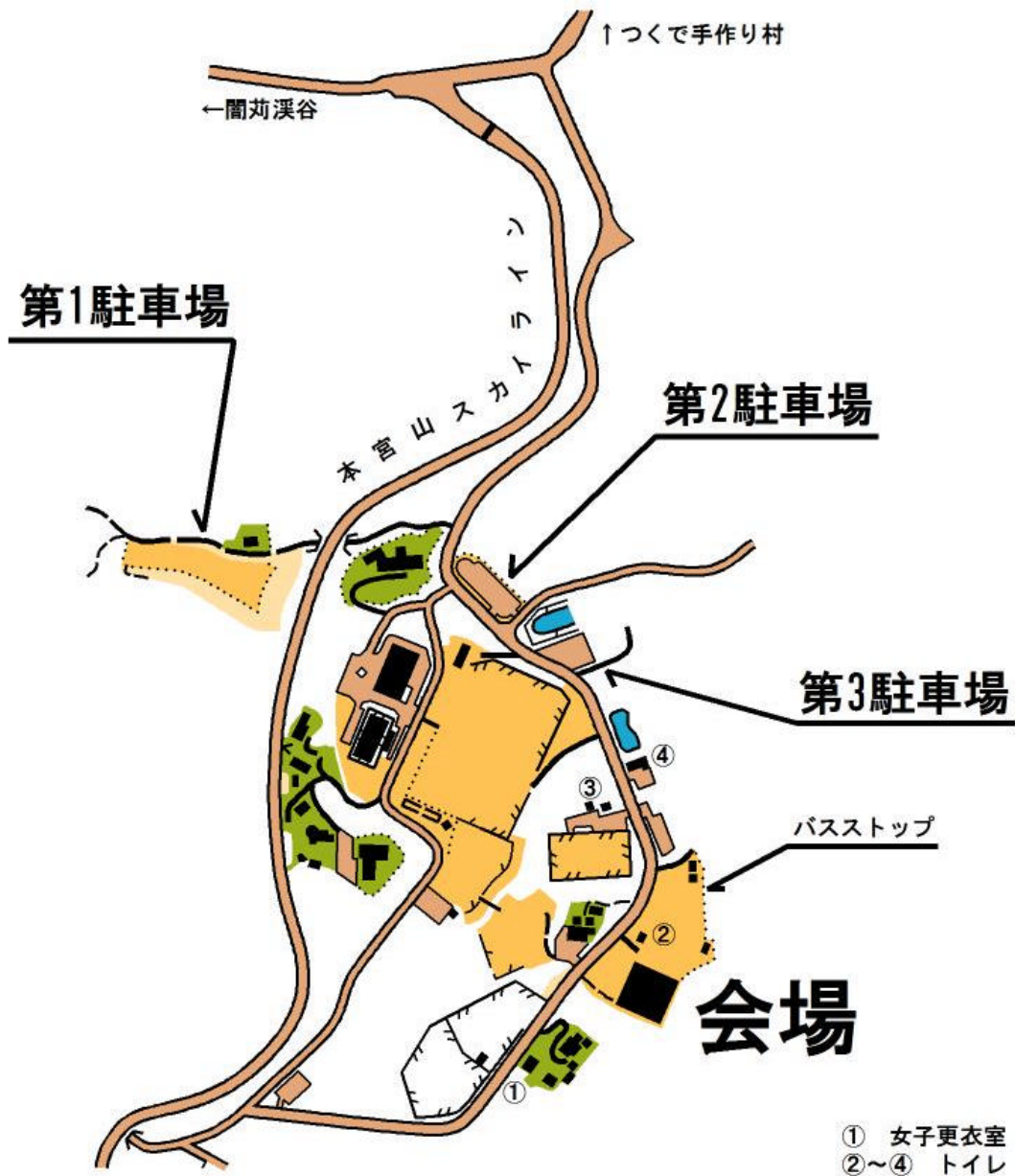
3.1 会場周辺広域図

山新城 作手エリア





3.2 会場周辺図



3.3 自家用車等での来場

山豊橋・豊川方面から

東名高速「豊川」ICより国道151号線を新城方面へ。国道151号線は途中、「川田交差点にて左に、「川田山田平」交差点にて右に曲がるので、注意すること。

「杉山北」交差点より国道301号線を作手方面へ。つくで手作り村の前の交差点（鬼久保ふれあい広場の看板有り）を左折。本宮山スカイライン料金所手前を左折して会場へ。

豊川ICから会場までは、約30km、60分である。

[2]豊田方面から

東名高速「豊田」JCTより東海環状自動車道へ。「豊田松平」ICより国道301号線を下山方面へ。つくで手作り村前の交差点を右折。本宮山スカイライン料金所手前を左折して会場へ。

豊田松平ICから会場までは、約40km、80分である。

[3]駐車場

会場周辺図記載の駐車場に駐車すること。駐車の際は係員の指示に従い、第1駐車場から順に駐車すること。

なお、駐車場利用の事前申込は必要なく、駐車券も発行しない。

3.4 バス・公共交通機関での来場

[1]新城駅まで

JR東海道本線・東海道新幹線「豊橋」駅より、JR飯田線にて「新城」駅下車。

豊橋・飯田間は、約35分（特急の場合、約25分）。

JRのダイヤについては、JR時刻表を参照のこと。

（参考 <http://ekikara.jp/> 「駅から時刻表」 <http://www.jr-central.co.jp/> 「JR東海」）

[2]大会専用バス

・バス時刻表

11月5日

新城駅	会場	1000円	約30分			
				9:30	10:50	13:00
会場	新城駅（さくら別館・新城観光ホテル）	1000円	約30分			
				10:10	12:20	13:40 17:00
会場	野外活動センター	1000円	約20分～60分			
	下山村方面（民宿三河路、やまびこ、かじか苑）			15:00		

11月6日

新城駅	会場	1000円	約30分			
				7:15	7:30	8:30 9:00
下山村方面	会場	1000円	約40分～60分			
				7:00	9:00	
野外活動センター	会場	1000円	約20分			
				7:30		
会場	新城駅	1000円	約30分			
				15:15	15:55	16:35 17:15

- バスの運賃は、乗車時に支払うこと。
- 各地区発バスの運賃には、片道・往復それぞれの申込に応じて、上記大会専用バスの運賃が含まれている。
- 状況により増発することがある。多人数の大学は乗り切れないこともあるので、あらかじめ

注意すること。

- 運行状況により発着時刻が変更になる場合がある。大幅な到着時刻の遅れが生じた場合は、スタート時刻を遅らせる可能性がある。
- 民宿やまびこを除いて、下山村各民宿・野外活動センター前がバスストップとなる。民宿やまびこは、民宿三河路より旅館のバスにて送迎となる。

・新城駅前バス乗り場



[3]各地区発バス

各地区発バスに関する案内は、後日、発表する。概要は、発表済みの「宿泊輸送に関する要項」参照のこと。

3.5 宿泊

宿泊に関しては、(株)日本旅行より各校に連絡がある。

3.6 問い合わせ先

輸送・宿泊に関して不明点・変更等ある場合は、下記まで連絡すること。

(株)日本旅行 東京南支店 正能 近藤 Tel XXXXXXXX Fax XXXXXXXX E-mail XXXXXXXX

4 モデルイベント・トレイル-0 【11/5(土)】

【モデルイベント】

4.1 開設期間

11月5日(土) 10:00～16:00

4.2 使用地図

- モデルイベントトレイルの地図(コントロール位置印刷済、1:10000と1:15000で併記)は、プログラムとともに各加盟校に1枚ずつ配布する予定である。また、モデルイベント会場の受付において参加費と引き換えに地図を提供する。モデルイベントの参加費は700円である。
- モデルイベント用地図は耐水加工されていない。

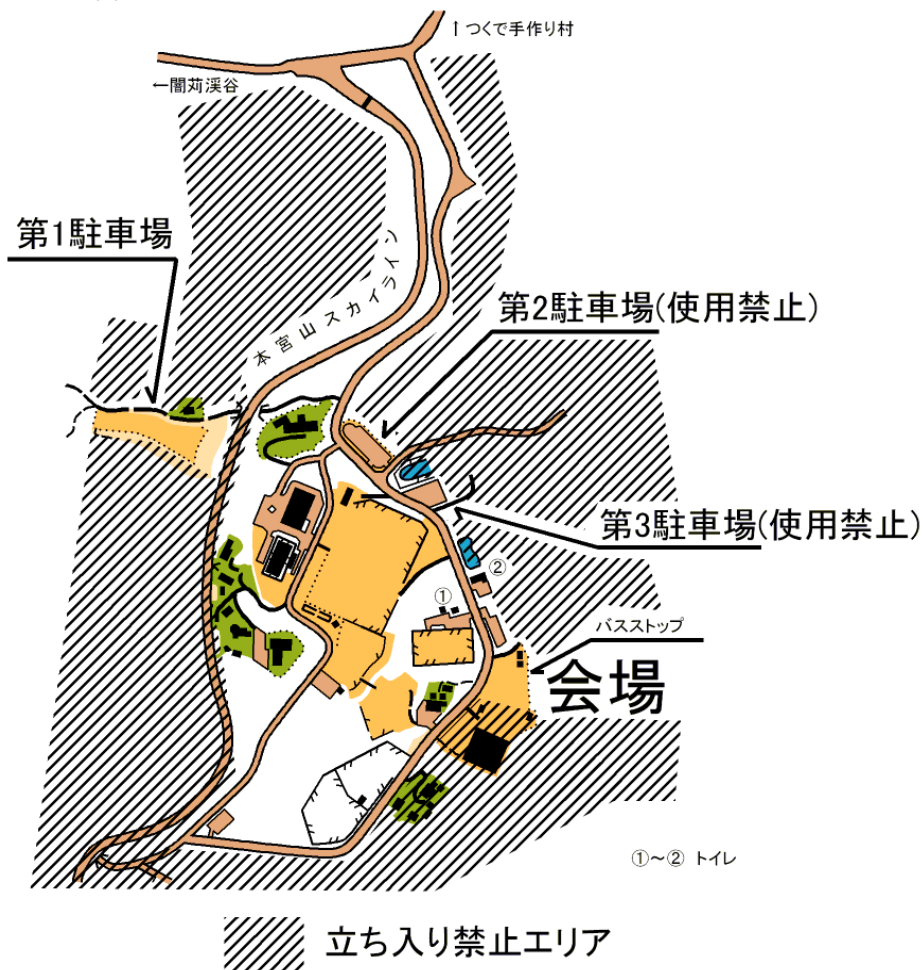
4.3 会場への交通【章参照】

- 自家用車での来場を認める。第1駐車場のみ駐車してよい。
- バス・公共機関については3.4項参照のこと

4.4 会場【鬼久保ふれあい広場駐車場】

- 一般客も利用するので一般常識の範囲で、迷惑のないように振舞うこと
- モデルイベントは青空会場である。荷物置き用テント、女子更衣用テントは用意するが、参加者がテント等を設営できるスペースはない。

<会場レイアウト図>



4.5 モデルイベント利用手続方法

1 受付

- モデルイベント参加者は必ず、入山時に会場の受付に立ち寄り、ノートに氏名・学校名・携帯電話番号・出発時刻を記入すること。
- 下山時にも必ず会場の受付に立ち寄り、帰還時刻を記入すること。
- 下山報告をしない場合、未帰還者として検索される場合がある。報告を忘れないこと。
- 13:00～15:00 の間、翌日のインカレの配布物の配布を行う。配布物の内容については 5 章「個人ロング・ディスタンス競技」の 5.3 項「配布物」を参照のこと。大学ごとにまとめて配布を行うので、希望する大学の代表者は受け取りに来ること。

2 e-card の貸出し

会場の受付にて、希望者に練習用 e-card を貸出す。但し数には限りがあるので、My e-card を持つ者ではできる限りそれを使用すること(その際も入山・下山手続きは必ず行うこと)。e-card の貸し出し料は 1 枚 200 円である。

4.6 モデルイベント内容

- モデルイベントで使用するテレインは、実際の競技で使用するテレインと類似している。
- モデルイベントで設置する器具や、その他設置状況は次の通りである。

設置器具	内容
1 コントロール	選手権の部及び一般の部の、競技にて用いる電子パンチングシステム (EMIT) のコントロールユニットの見本を会場内に設置する。また、モデルイベントテレイン内の全コントロールには、フラッグ及びコントロールユニットが設置されており、フラッグの見え方や設置状態を確認できる。
2 スタート地区	選手権の部のスタート地区に準じた設備を設置する。
3 最終コントロールからゴールまでのテープ誘導	選手権の部に準じた誘導テープを設置する。
4 ゴール地区	一般の部に準じて、パンチングフィニッシュのためのコントロールユニットを設置する。
5 立入禁止を示すテープ	会場内に見本を設置する。

- モデルイベント会場から、モデルイベント内のスタートユニット設置位置までは、青色テープ誘導徒歩約 10 分である。

4.7 モデルイベント注意事項

- モデルイベント開設区域は翌日のインカレ本戦競技エリアに隣接しているため、モデルイベント利用時及び会場への移動に際しては十分に注意すること。
- モデルイベント期間中は、主催者では傷害保険に加入していないので怪我には十分注意すること。
- モデルイベント開催期間中、主催者が設置した以外のコントロールフラッグ・テープなどのモデルイベントテレイン内での設置は一切認めない。
- モデルイベント使用中の緊急連絡は、XXXXXXX(三河 OLC 安齋)へ行うこと。
- 会場およびテレイン内は火気厳禁である。
- ゴミは必ず持ち帰ること。
- モデルイベントでは計時は行わない。

【トレイル-O】

トレイル-O は「体力不要。知力で勝負」の地図読みと正確さを競うオリエンテーリングである。オリエンテーリングウェアを着用する必要はなく、普段着で競技が可能である。当日申込が可能で、当日申込の選手も表彰対象となる。

4.8 受付・スタート【3:00～15:30】

- 会場 受付位置は上記モデルイベントの受付と同じである。
- スタート方法

【事前申込者】

会場の受付において、スタート時刻を指定し、コントロールカードを受け取る。

【当日申込者】

所定の申込用紙に氏名・大学名(所属)・クラスを記入し、参加費を支払うこと。**参加費は1000円である。**

スタート時刻はこの場で指定する。スタート地点は会場すぐ近くを予定している。

スタート地点で地図を受け取り、競技を開始する。

トレイル-Oの競技時間は60分である。

時間帯によって混雑となることも予想される。希望の時刻にスタートできない、または出走できない可能性がある。今回は運営者からの初心者説明を行わない予定である。ただし、説明用プリント配布、モデルコントロールを用意する予定である。

4.9 地図

位置説明 : IOF 記号 地図記号 : SOM2000 縮尺 : 1:5000 等高線間隔 5m 透視可能度 : 3段階表示

4.10 コース

クラス	距離	登距離	難易度
TA	1200m	25m	競技方法を知っている者
TN	800m	20m	競技方法を知らない者

4.11 テレインプロフィール

テレインは会場周辺の狭い範囲に位置する。テレイン内のルートはほとんどが舗装されている。普段着・普段靴で競技が可能である。

4.12 競技 【3:00～16:00】

競技の公平性を遵守し、静粛に競技を行うこと。他の選手のヒントとなるような言動は厳禁とする。各コントロールのDP付近に針パンチがあるので、コントロールカードにパンチすること。一度パンチすると訂正することができないので、慎重にパンチすること。

正解なしのコントロールがある可能性がある。

競技中にタイムコントロール(TC)がある可能性がある。その位置は地図上に示されていない。TC近辺では係員の指示に従い、TCに挑戦すること。ただし、TCには正解無しという解答は無い。TCが不正解の場合、ペナルティとして回答時間に60秒が加算される。

正解数が最も多く、TCの回答時間の合計が最も短い者が優勝となる。

4.13 フィニッシュ

16:00 までにフィニッシュすること。 時間内にフィニッシュできなければ減点とする。

スタート後、途中で競技を止める場合でもフィニッシュを必ず通過すること。

コントロールカードを提出すること。地図の回収は行わない。競技終了の選手は競技前の選手に地図を見せないようにすること。正解表は5日16:00時以降および6日の受付で配布する。当日の速報は行わない。

4.14 結果発表・表彰 【1月6日】

- 競技の翌日(1月6日)、結果を公式掲示板に掲示する。成績に疑問がある際は、大会受付で所定

の質問用紙にて質問すること。質問の期限は11月6日 12:30 とする。表彰は11月6日、ロングの表彰と合わせて行う
表彰対象は以下のとおり

- A、Nクラスの上位3名ずつ
- 大学対抗順位 (Aクラスの上位3名の得点合計)の上位3校

ただし申込の事前当日を問わない。

4.15 トレイル-O地図販売、コース開放及びチャレンジについて

- 翌日(11月6日)8時より受付にて前日(11月5日)のトレイル-O競技の反省及び疑問点の解消のために、トレイル-Oのコースを開放する。実際に道を外れてコントロール付近に入り確認することが可能である。
- 前日(11月5日)、競技に参加できなかった者は申し出があればコントロールカードを渡すので、実際に競技にチャレンジすることができる。(ただし、TCでの計時はなく、成績には反映されない。)参加費は地図代の500円のみである。
- トレイル-Oのコース開放はクレーム受付と同じく12:30で終了する。

4.16 その他

- 日本トレイル・オリエンテーリング競技規則に準じる。
コースプランナー：山口尚宏、岡本健一
トレイル-Oに関する問合せ先：
岡本健一 XXXXXXXX TEL XXXXXXXX

5 個人ロング・ディスタンス競技【11/6(日)】

個人ロング・ディスタンス競技に関する全般情報については、「10.競技情報」も参照すること

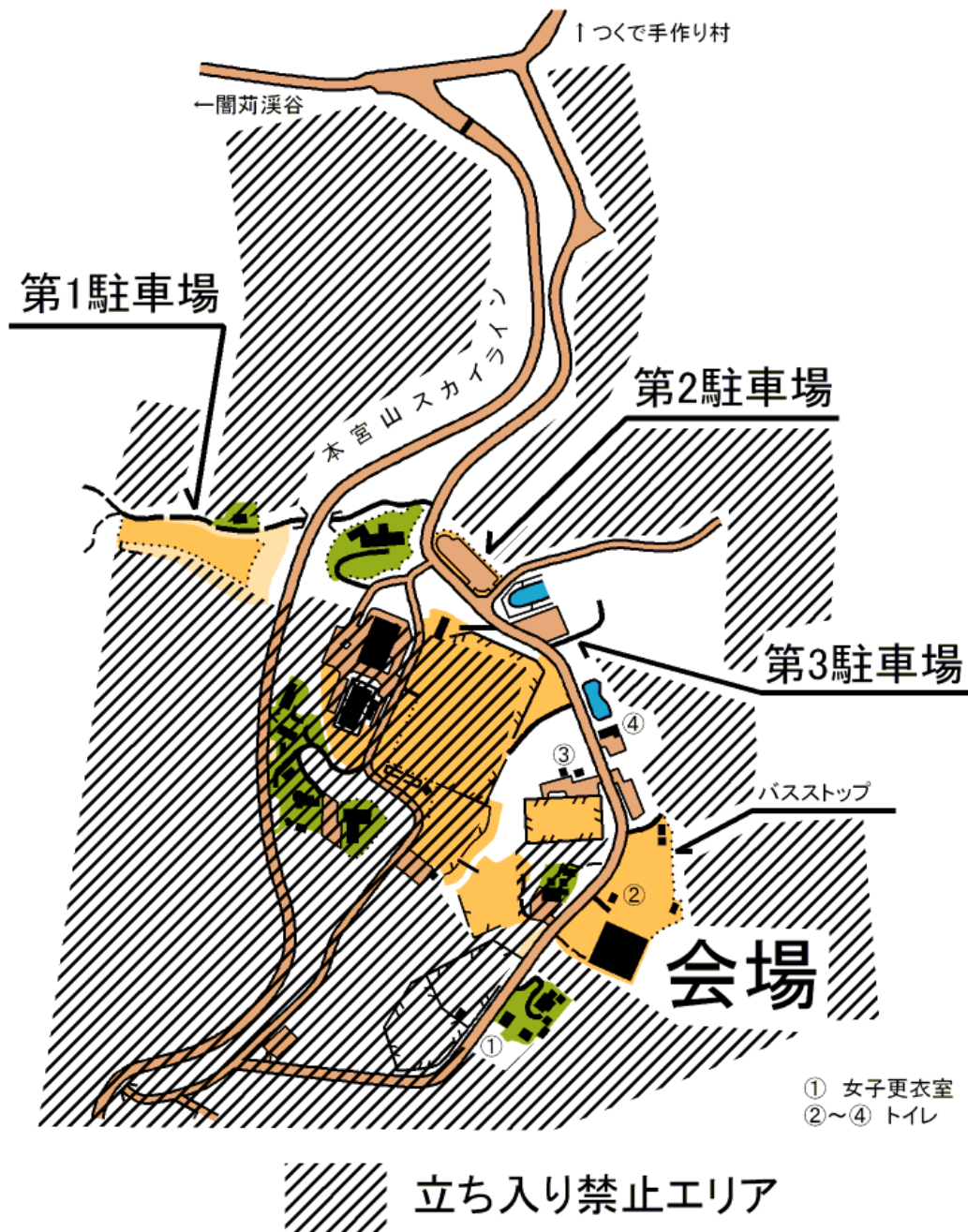
5.1 選手村から競技会場への移動

3項参照のこと

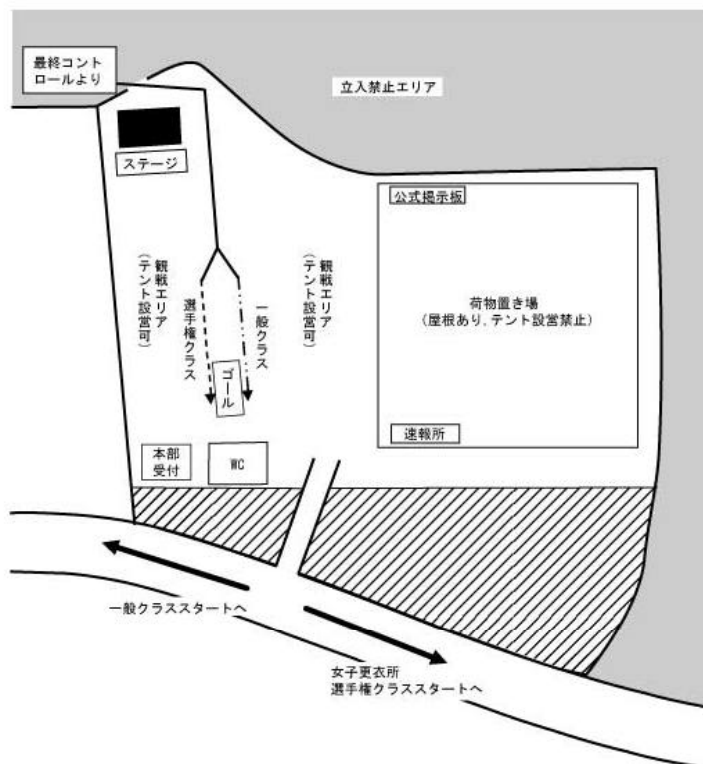
5.2 競技会場

競技会場のレイアウトを以下に示す。なお、レイアウト図は当日公式掲示板においても掲示する。

[1]会場付近レイアウト(会場・駐車場・トイレ等)



[2]会場内レイアウト



- 会場内に公式掲示板を設置する。
- 荷物置き場は屋根つきである。シート等は敷いても良いが、テントの設置やピンつきシューズの使用等、地面を荒らす行為は禁止する。
- ウォーミングアップエリアは一般の部スタート地区までの誘導区間とする。

5.3 配布物 【8:00~9:00】

当日の朝受け付けにおいて以下のものを配布する(前日のモデルイベント会場で既に受け取った大学は除く)。大学分ごとにまとめて配布を行うので、代表者は受け取りに来ること。

1. E-card(選手権 一般の部とも)

- e-cardの紛失・忘失は失格となることがある。失格の場合、e-card再発行により出走は可能であるが参考タイムとする。選手権の部 一般の部とも再発行場所はスタート地区となる。

2. バックアップラベル(選手権 一般の部とも)

- バックアップラベルには、クラス・スタート時刻・氏名が記入されている。
- レンタルe-cardにはバックアップラベルが既にはめ込んである。
- My e-card使用者はバックアップラベルを各自e-cardにはめ込んでおくこと。

3. コントロール位置説明表(選手権 一般の部とも)

- コントロール位置説明表を持って競技することができる。
- コントロール位置説明表の耐水加工はされていない。コントロールカードケース等に入れてもよい。
- コントロール位置説明表は10×12cmを越えない大きさである。
- コントロール位置説明表は地図表面にも印刷されている。

4. ナンバーカード(選手権の部のみ)

- ナンバーカードは、胸と背中の見やすい位置に水平に1枚ずつ付けること。

- ナンバーカードを付けていない、もしくはナンバーカードが隠れている選手は出走できない。
- 競技中ナンバーカードがはがれないように、ナンバーカード1枚につき6個の安全ピンを使用すること
- 安全ピンは配布しないので、各自で準備すること。

5.4 開会式 (競技会場) 【8:30～8:50】

開会式は以下の内容を予定している。

- 1.開会宣言
- 2.主催者挨拶
- 3.優勝杯返還・レプリカ贈呈
- 4.諸注意

5.5 競技の流れ (選手権の部)

1 スタート地区

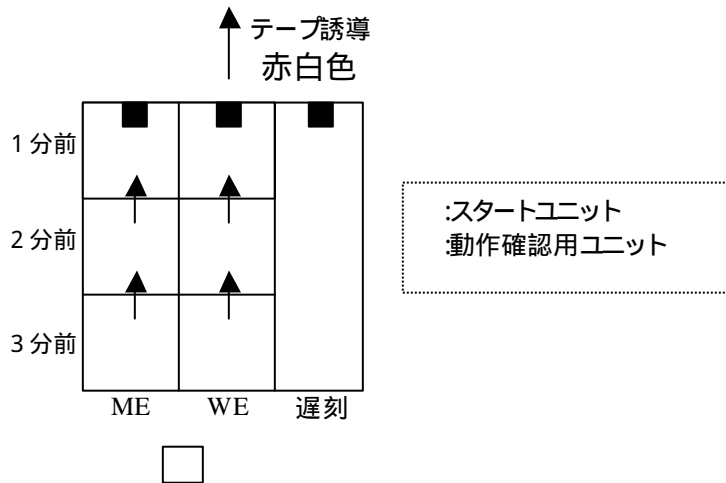
- 競技会場からスタートまでは、緑白色テープ誘導で徒歩 10 分以内である。
- e-card若しくはナンバーカードが無い者、及び不備のある者は正規の時刻にスタートできない場合がある。
- 選手権の部出場選手とオフィシャル以外はスタート地区へ行くことができない。
- 防寒着の輸送は行わない。

2 スタート方法

スタート時刻 3分前まで	e-card を所定のユニット(動作確認用ユニット)へはめ込み、e-card のアクティベーター確認を行う。アクティベーターは赤ランプが点滅することによって確認できる。赤ランプが点滅しない場合は、e-card 故障のおそれがある為直ちに e-card の再発行を受けること。
3分前	スタート枠に入る。
2分前	1つ前の枠に進む。
1分前	更に1つ前の枠に進み、役員からe-cardの確認を受ける。
10秒前	役員の指示に従い、e-cardをスタートユニットへはめ込む。 スタートの合図と同時に離すこと。
スタート	スタートチャイマーの合図後、地図を取りスタートする。
スタート後	赤白テープ誘導に従ってスタートフラッグへ向かう。スタートフラッグは地図上の位置である。

- MEは 10:00～12:02、WEは 10:00～11:26 の間に 2 分間隔でスタートする。
- 遅刻者は役員の指示に従い、遅刻枠へ向かうこと。正規のスタート時刻の選手に影響を与える恐れのある場合は、スタートを遅らせることがある。

<選手権の部 スタート地区レイアウト>



3 有人コントロール

- コントロールに役員を配置する場合があるが、e-cardの提示の必要はない。

4 救護所

- テレイン内に救護所を設置し、最小限の手当てのための用具を用意する。救護所では給水することができる。

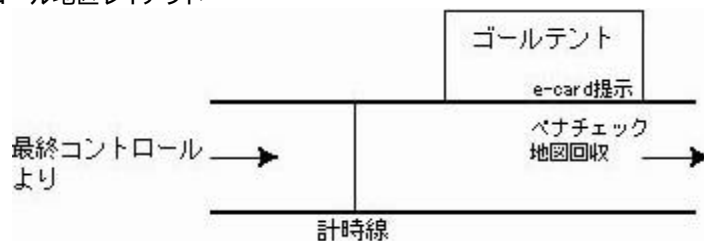
5 給水コントロール

- 給水コントロールを設け、飲料水を用意する。給水はセルフサービスである。

6 ゴール

- 最終コントロールからゴールまでは赤白色テープ誘導である。
- テープ誘導は、一部が一般の部と共通になっている。案内にしたがって正しくゴールレーンに向かうこと
- 計時線通過後は、役員にe-cardを提示するまで追い越し禁止である。
- 選手権の部スタート最終時刻まで地図回収を行う。e-cardを提示後、役員の指示に従って各自で所定の位置に地図を返却すること。回収できない場合は失格とする。
- e-cardはペナ等の疑いがある場合以外ゴールでは回収しない。
- バックアップラベルを紛失した場合でも、e-cardの電子的記録でコントロールを順番に回ってきたことが確認できれば、失格としない。
- ゴールでの調査依頼などは一切受け付けない。大会受付に申し出ること。
- 競技を棄権する場合でも、必ずゴールにe-cardを提出すること。これが不可能な場合は、最寄りの大会役員にe-cardを届けること。
- 一旦ゴールした選手は、再びスタート地区へ向かうことはできない。また、競技の公平性を保つ為、コースやテレイン内の情報をスタート前の選手に提供するような不正行為を行わないこと。

<選手権の部 ゴール地区レイアウト>

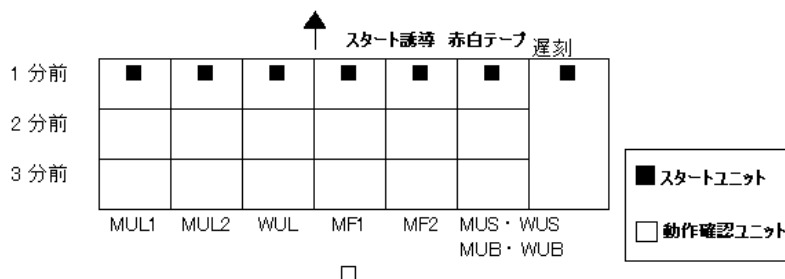


5.6 競技の流れ（一般の部）

1 スタート地区 9:30～11:00

- 競技会場からスタート地区までは、青白色テープ誘導で約1km、徒歩約15分である。
- チームオフィシャルもスタート地区に行くことができる。
- e-cardが無い者、及び不備のある者は正規の時刻にスタートできない場合がある。
- 防寒着の輸送は行わない。

<一般の部 スタート地区レイアウト>



2 スタート方法

スタート時刻	e-cardを所定のユニット(動作確認用ユニット)へはめ込み、e-cardのアクティベーター確認を行う。アクティベーターは赤ランプが点滅することによって確認できる。赤ランプが点滅しない場合は、e-card故障のおそれがある為直ちにe-cardの再発行を受けること。
3分前まで	
3分前	スタート枠に入る。
2分前	1つ前の枠に進む。
1分前	更に1つ前の枠に進み、役員からe-cardの確認を受ける。
10秒前	役員の指示に従い、e-cardをスタートユニットへはめ込む。 スタートの合図と同時に離すこと。
スタート	スタートチャイマーの合図後、地図を取りスタートする。
スタート後	赤白テープ誘導に従ってスタートフラッグへ向かう。スタートフラッグは地図上の 位置である。

- 遅刻者は役員の指示に従い、遅刻枠へ向かうこと。正規のスタート時刻の選手に影響を与える恐れのある場合は、スタートを遅らせることがある。

3 救護所

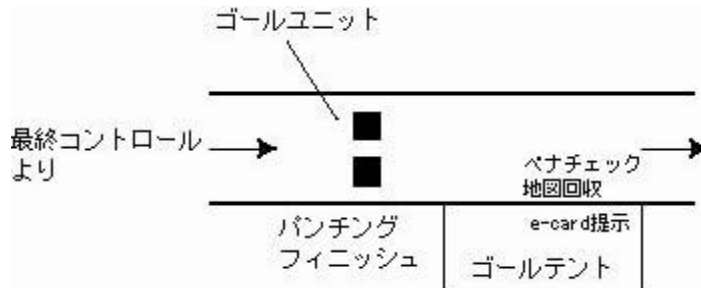
- テレイン内に救護所を設置し、最小限の手当てのための用具を用意する。また、救護所では給水することができる。

4 ゴール

- 最終コントロールからゴールまでは赤白色テープ誘導である。
- テープ誘導は、一部が選手権の部と共通になっている。案内にしたがって正しくゴールレーンに向かうこと。
- ゴールはパンチングフィニッシュとし、ゴールにあるコントロールユニット(ゴールユニット)によってe-cardに記録されるタイムを正式なゴールタイムとする。ゴールユニットは複数あるので、いずれか1つを使用すればよい。
- ゴール後は、役員にe-cardを提示するまで追い越し禁止である。
- 地図回収を行う e-card を提示後、役員の指示に従って各自で所定の位置に地図を返却すること。
- e-cardは提示後そのまま持ち帰り保管すること。

- バックアップラベルを紛失した場合でも、e-cardの電子的記録でコントロールを順番に回ってきたことが確認できれば、失格としない。
- ゴールでの調査依頼などは一切受け付けない。大会受付に申し出ること。
- 競技を棄権する場合でも、必ずゴールにe-cardを提出すること。これが不可能な場合は、最寄りの大会役員にe-cardを届けること。
- 一旦ゴールした選手は、再びスタート地区へ向かうことはできない。また、競技の公平性を保つ為、コースやトレイン内の情報をスタート前の選手に提供するような不正行為を行わないこと。

<一般の部 ゴール地区レイアウト>



5.7 競技時間及びゴール閉鎖時刻

① 競技時間

- 競技時間は選手権の部では2時間30分、一般の部では2時間とする。
- 上記の時間を超えた選手はすべて失格とする。

② ゴール閉鎖時刻

- ゴール閉鎖時刻は、選手権の部では14:32、一般の部では13:30とする。
- 競技途中であっても、ゴール閉鎖時刻までにはゴールを通過すること。
- 競技を途中棄権する場合でも、必ずゴールにe-cardを提示すること。
- これが、不可能な場合は、最寄りの役員に届けること。

5.8 弁当配布(受付)【1:00～12:00】

- 配布の放送がかかり次第、各校の代表者が弁当を取りに来ること。
- 弁当のゴミは学校ごとにまとめて受付テントにて回収する【5:30まで】。
- ◎弁当ゴミの中に、弁当以外のゴミは絶対に入れないこと。

5.9 地図販売および地図返却【2:02以降】

- 選手権の部スタート終了後より受付で地図販売を行う。また、会場のいずれかの場所で地図返却を開始する。

5.10 表彰式(競技会場)【3:45頃～】

- 表彰式は13:45頃より競技会場にて行う予定である。詳細は放送にて連絡する。
- 選手権の部は男女上位各6名を表彰する。尚、選手権の部において、今年度初登録者のうち最も成績の良かった者、男女各1名を特別に表彰する。
- 一般の部はMF1、MF2は上位5名、WFクラスは上位10名、その他のクラスの各上位3名をそれぞれ表彰する。
- 併せてトレイル-Oの表彰も行う
- 入賞者は掲示と放送によって発表する。入賞者は放送内容に注意し、表彰式開始までに指示された召集場所に集合すること。

- 競技会場にて花束の販売を行う予定である。
- 引き続き会場にて閉会式を行う

5.11 閉会式 (競技会場)

表彰式に引き続いて閉会式を行う 閉会式は以下の内容を予定している。

1. 総評
2. 実行委員長挨拶
3. 次回への引き継ぎ
4. 閉会宣言

5.12 未帰還者届の提出 (本部テント)【～13:00】

- 各校の代表者は 12:45 の時点で自校の出走者の帰還状況を確認し、13:00 までに未帰還者の有無に関わらず未帰還者届を提出すること。12:45 以前に出走者全員の帰還が確認された場合は、速やかに未帰還者届を提出すること。

5.13 レンタルe-cardの返却【～15:30】



レンタル e-card を返却する際は、大学ごとにまとめて提出すること。

6 競技情報

6.1 地図について

- 地図は以下の仕様のものを使用する。
 - ?ME・WEクラス
縮尺 1:15000、等高線間隔 5m、走行可能度 4段階表示
 - ?その他のクラス
縮尺 1:10000、等高線間隔 5m、走行可能度 4段階表示
- 地図表記はISOM2000 (International Specification for Orienteering Maps (国際オリエンテーリング地図規定))に従っている。
- 上記規定の中には地図ごとに定義を定め、これを凡例に示すことで使用が認められている特徴物がある。この規定に従って以下のように記号を定める。
 - 緑の ? ...独立樹
 - 黒の ? ...炭焼き窯跡
 - 黒の × ...ほこら、石碑、石仏等

上記規定に従わない特殊記号を、イベントアドバイザーの同意を得て以下のように定める。

緑のクロスハッチ  ...椎茸床 (ほた場) :**立入禁止**
黒の  ...ビニールハウス

- 表記に関してはモデルイベントの地図凡例を参照のこと。競技に使用する地図は凡例を省略している。
- モデルイベントでは、1:10000 と1:15000 で併記された地図が提供される。
- 椎茸床 (ほた場) は立入禁止である。コース上の小さなほた場は立入禁止のパープルハッチ が表記されていなくても、青黄テープで囲んである場合がある。
- 地図上黒の縦ハッチ (常時立入禁止) の部分がある。
- 本大会で使用する地図は、すべてビニール袋に封入されている。

6.2 テレインの概要

テレインは標高 500 ~ 700m に位置し、ある部分は細かい尾根と細い沢を備えた 複数の大きな山塊や尾根からなり、傾斜は急である。比高 50m 以内のいくつかの小さな 山塊からなる部分もあり、その部分も傾斜は急である。

また微地形が複雑に発達した部分もある。地表はやわらかいが、細い沢底は岩がちである。90%が針葉樹で、走行可能度や見通しはたいいていの場合非常に良い。残りの針葉樹と広葉樹 の混交林からなる部分では走行可能度や見通しは落ちる。

テレイン内には耕作地があり、太い舗装道路が横切るほか、細い舗装道路や非舗装道路、小道も見られる。

6.3 コース距離・登距離

クラス	コース距離 (km)	登距離 (m)
ME	7.91	650
WE	4.93	370
MUL1	4.80	
MUL2	4.84	
WUL	4.06	
MUS	3.17	
WUS	2.77	
MF1	2.94	
MF2	3.03	
WF	3.00	
MB	2.81	
WB	2.82	

* インカレ実施規則の不適用条項について本大会において、インカレ実施規則 17.4 を不適用とし、ME、WE とともに、登距離がルート距離の 6% を超える設定とする。（インカレ実施規則 1.4 に基づき理事会承認済み）

6.4 e-card について

1 電子パンチングシステムの概要

- 本大会では、EMIT 社製の電子パンチングシステム (Electronic Punching and Timing system) を使用する。
- 電子パンチングシステムでは、競技者が手に持って走るタグ (e-card) と e-card を起動するためのスタート用のユニット(スタートユニット)と コントロールにおいて記印を行うためのユニット(コントロールユニット)を用いる。
- スタートユニットに e-card をはめ込むと e-card が動作し始め (この動作をアクティベートと呼ぶ)、正常に動作している場合にはスタートユニットについているランプが赤く光る。
- コントロールユニットは固有の番号をもっており、アクティベートした e-card をはめ込むことにより、この固有の番号を e-card が読み取り、e-card に記録される。
- また、e-card には時計が内蔵されており、アクティベートと同時に計時を開始し、コントロールユニットの固有の番号と同時に、コントロールユニットにはめ込んだ時間も記録される。
- これらの記録されたデータをゴール後に読み取り、失格判定を行う。
- e-card は、機械であるため途中で故障する可能性がある。故障しても失格判定を行えるように、e-card にはバックアップラベルが付いている。
- バックアップラベルはコントロールユニットにきちんとはめ込んだ場合に、従来のコントロールカードと同様に穴が空くような構造となっている。(ただし、穴は 1 点、位置によってどのコントロールが判別する)

2 e-card 使用上の注意点

- e-card の加工、書き込みなどは認めない。このためコントロール位置説明表を携帯する場合は、ビニール袋、コントロールカードケース等を利用してよい。
- アクティベートを行っていない場合、一切の記印が記録されないため、スタートユニットでは各人でランプが点灯することを確認すること。ランプが点灯しない場合には役員に届け出ること。
- e-card が適切に動作していなかった場合はバックアップラベルでコントロールの通過を確認するので

バックアップラベルも紛失しないように十分注意すること。

- e-cardの紛失・忘失は失格となることがある。
- e-card の電子記録によって正しくコントロールを回っていることが証明される限りにおいて、バックアップラベルを紛失しても失格とはしない。
- バックアップラベルにも記印を行うため e-card をコントロールユニットにきちんとはめ込むこと。
- スタートユニットにはめ込むと、以前の記録は消去されるため、競技開始後は決してスタートユニットに近づけないこと。
- **My e-card 使用者は必ず申込み時点で申請した ID 番号の e-card を使用すること。**申請したものと異なる e-card で出走した場合、失格とする。やむをえない理由で使用不可能となった場合、配布されたバックアップラベルを持参し、当日受付へ申し出ること。

B.3 コントロールで間違った記印をした場合の対処方法

- 同じ番号のコントロールで続けて 2回以上パンチした場合は最初のパンチのみが記録される。パンチに不安がある場合は 2回以上パンチしても問題は無い。
- 途中で間違ったコントロールのパンチが記録されていても正しい順番で回ったことが確認できれば完走と認める。従って、間違ったコントロールでパンチした場合でもそのまま正しいコントロールに行きパンチすればよい。

【例 1】 7? 8? 9と行くべきところ、8を飛ばして 9をパンチした場合

そのまま 8に戻ってパンチをし、再び 9をパンチする。

【例 2】 7の次に 8に行くべきところを他のクラスのコントロールXでパンチした場合

そのまま 8に行きパンチする。

4.1 その他注意事項

- e-card を紛失若しくは破損した場合、弁償金(5000円程度)を徴収する。競技中の事故で破損した場合にはその限りではない。

6.5 救護所及び給水所

- 競技会場本部テント付近に救護所を設ける。また、テレイン内に飲料水を用意した給水所・救護所を設ける。
- 競技中に怪我人を発見した場合は、救護所またはゴールの役員に連絡すること。
- すべての競技者及びチームオフィシャルは、競技より優先される不慮の事故が生じた場合は最寄りの役員に連絡すること。

6.6 調査依頼及び提訴

1. 調査依頼

- 大会受付にて調査依頼を受け付ける。
- 調査依頼の用紙は、大会受付にある。
- 回答は、公式掲示板に掲示する。
- 成績速報に関する調査依頼は、ゴール閉鎖後 1時間以内に行うこと。
- 調査依頼には主管者が回答する。調査依頼の回答に疑義がある場合のみ、提訴を受け付ける。

2. 提訴

- 選手権の部または、大会全体に関するインカレ実施規則に対する違反について、主管者の回答に疑義がある場合は提訴を行うことができる。提訴は裁定委員会に対して文書で行う。
- 提訴に対する裁定委員会の判断は最終的なものである。関係者に通知されるほか、大会報告書にて

報告される。

7. エントリーリストおよびスタートリスト

7.1 チームオフィシャルリスト

(48名)

岩手大学	熊谷 智之 山口 卓也	筑波大学	櫻田 隆之 高野 麻記子
東北大学	櫻本 信一郎 小林 恭輔	東京工業大学	坪居 大介 前田 裕太
北海道大学	西村 淳史 柏倉 圭介	東京女子大学	木暮 なつ樹 西脇 正展
宮城学院女子大学	姫野 祐子 安部 寛明	東京大学	牧山 知彦 市原 孝一
岩手県立大学	小林 力 天谷 翔吾	東京農工大学	山下 智之 柘植 春奈
金沢大学	田村 潔 谷内田 功	日本女子大学	寺垣内 航 三宅 文彦
新潟大学	蛭田 晃仁 田口 久美子	名古屋大学	村田 悠 安斎 秀樹
茨城大学	鈴木 慎一郎 熊野 匠人	椋山女学園大学	志村 和子 内藤 愉孝
慶應義塾大学	斉 淳史 梅原 崇一	静岡大学	中村 洋輔 長沼 佑樹
実践女子大学	宮沢 絵美 大塚 友一	京都大学	長谷川 裕 中川 英一
図書館情報大学	尾崎 高志 松永 彩	京都橘大学	若木 まりも 鳥羽 都子
千葉大学	平石 大介 青木 孝道	奈良女子大学	横澤 夕香 鈴木 康史

7.2 ロング参加者数一覧

大学名	ME	WE	MUL	MUS	MUB	MF	WUL	WUS	WUB	WF	出場計
岩手大学	1	1	9			2	1				14
東北大学	11		14			14				1	40
北海道大学	2		2			1					5
宮城学院女子大学		3					5				8
岩手県立大学			1			7	3				11
福島大学			2								2
金沢大学	4		9			4	7			1	25
新潟大学	4	1	8			8	7				28
茨城大学	1	1	6	1		1	2	1		1	14
横浜国立大学			1								1
慶應義塾大学	3		6	1		5					15
ICU			2			1					3
埼玉大学			1								1
実践女子大学							3		1	3	7
首都大学東京			1								1
図書館情報大学	1		2								3
千葉大学	5	1	5			4	1				16
早稲田大学	1	2	11	4							18
相模女子大学		1					5			3	9
筑波大学	2	4	8			3	2			1	20
中央大学	1					1					2
津田塾大学		1					3			1	5
東京工業大学	5		9	2		8					24
東京女子大学		1					1		2		4
東京大学	5		16	1	1	9					32
東京農業大学				1							1
東京農工大学		3	6			4	1				14
東京理科大学			1								1
日本女子大学		9					5	2		3	19
名古屋大学	5		4			9					18
椛山女学園大学		2					9			9	20
静岡大学	2	1	14			9	2				28
大阪大学	1		3			2					6
関西大学			1			1					2
京都大学	6		11			4				1	22
神戸大学			4								4
立命館大学		2	9			3	2				16
同志社大学										1	1
京都女子大学							5	2	3	3	13
京都橘大学		3				4	6			2	15
奈良女子大学		4					2			3	9
龍谷大学			1							1	2
山口大学	2	1	2				5				10
計	62	41	169	10	1	104	77	5	6	34	509

7.3 ロング選手権の部スタートリスト

ME

シート選手

10:00	北崎 茂	きたざき しげる	4	東京工業大学
10:02	永井 亮	ながい たすく	3	東北大学
10:04	岡 英樹	おか ひでき	4	東京工業大学
10:06	早瀬 悠	はやせ ひさし	2	茨城大学
10:08	宮川 純一	みやかわ じゅんいち	4	筑波大学
10:10	小山 温史	こやま あつし	2	東京工業大学
10:12	室田 知宏	むろた ともひろ	3	京都大学
10:14	山田 祐嗣	やまだ ゆうじ	4	名古屋大学
10:16	古山 泰也	ふるやま やすなり	3	東京大学
10:18	藤本 裕介	ふじもと ゆうすけ	3	新潟大学
10:20	後藤 俊介	ごとう しゅんすけ	4	千葉大学
10:22	齋藤 祐也	さいとう ゆうや	3	東北大学
10:24	武藤 広晃	むとう ひろあき	4	名古屋大学
10:26	諸江 佳樹	もろえ よしき	2	東京大学
10:28	西山 洋生	にしやま ひろお	4	静岡大学
10:30	渡辺 悠介	わたなべ ゆうすけ	3	東北大学
10:32	吉岡 慶祐	よしおか けいすけ	2	名古屋大学
10:34	能勢 晃司	のせ こうじ	3	京都大学
10:36	八重樫 優一	やえがし ゆういち	4	千葉大学
10:38	高瀬 悠太	たかせ ゆうた	3	東京工業大学
10:40	杉山 尚徳	すぎやま なおのり	2	東北大学
10:42	平岡 雅芸	ひらおか まさき	4	金沢大学
10:44	茂木 堯彦	もてき たかひこ	2	東京大学
10:46	高橋 伸寧	たかはし のぶやす	4	慶應義塾大学
10:48	藤沼 崇	ふじぬま たかし	3	新潟大学
10:50	青山 弘毅	あおやま こうき	2	筑波大学
10:52	草場 健一	くさば けんいち	3	山口大学
10:54	森田 健介	もりたけんすけ	3	山口大学
10:56	土肥 雅人	どい まさと	4	金沢大学
10:58	後藤 陽一	ごとう よういち	3	東北大学
11:00	鶴井 達也	つるい たつや	4	名古屋大学
11:02	櫻木 伸也	さくらぎ しんや	4	静岡大学
11:04	柴本 浩児	しばも こうじ	1	東京工業大学
11:06	保前 保	ほうぜん たもつ	4	千葉大学
11:08	高橋 元気	たかはし げんき	4	東北大学
11:10	鶴田 翔一	つるた しょういち	4	金沢大学
11:12	五十嵐 雅史	いがらし まさふみ	2	慶應義塾大学
11:14	鉾立 裕樹	ほこたて ゆうき	4	東北大学
11:16	山田 貴洋	やまだ たかひろ	3	金沢大学
11:18	上野 光	うえの ひかる	2	東北大学
11:20	海老 成直	えび まさなお	2	中央大学

11:22	西村 徳真	にしむら とくまさ	2	京都大学
11:24	飯田 遼一	いいだ りょういち	3	東北大学
11:26	津國 真敏	つくに まさとし	3	京都大学
11:28	大塚 紘史	おおつか ひろし	4	千葉大学
11:30	後藤 大輔	ごとう だいすけ	4	東北大学
11:32	真壁 啓司	まかべ けいじ	3	慶應義塾大学
11:34	長縄 知晃	ながなわ ともあき	2	東北大学
11:36	鎌田 健太郎	かまた けんたろう	4	新潟大学
11:38	今井 直樹	いまい なおき	4	早稲田大学
11:40	山崎 貴彦	やまざき たかひこ	3	東京大学
11:42	樽見 典明	たるみ のりあき	4	名古屋大学
11:44	高田 智実	たかだ ともみ	4	京都大学
11:46	小林 隆昭	こばやし たかあき	4	千葉大学
11:48	真壁 浩之	まかべ ひろゆき	4	大阪大学
11:50	及川 弘文	おいかわ ひろぶみ	4	岩手大学
11:52	西田 剛志	にしだ つよし	4	東京大学
11:54	高橋 雄哉	たかはし ゆうや	4	図書館情報大学
11:56	土田 智宏	つちだ ともひろ	3	新潟大学
11:58	真名垣 友樹	まながき ゆうき	3	北海道大学
12:00	池 陽平	いけ ようへい	4	北海道大学
12:02	大西 康平	おおにし こうへい	3	京都大学

WE

10:00	幸村 和美	こうむら かずみ	3	岩手大学
10:02	石山 佳代子	いしやま かよこ	4	日本女子大学
10:04	渡辺 りつ子	わたなべ りつこ	4	日本女子大学
10:06	橋本 陽子	はしもと ようこ	4	日本女子大学
10:08	千葉 妙	ちば たえ	2	筑波大学
10:10	築山 絢	つきやま あや	4	早稲田大学
10:12	岸田 真希	きした まき	3	京都橘大学
10:14	杉本 さや香	すぎもと さやか	4	東京農工大学
10:16	吉野 真弓	よしの まゆみ	4	相模女子大学
10:18	岡田 瑛美	おかた えみ	3	早稲田大学
10:20	未確定 A			
10:22	井手 恵理子	いで えりこ	2	日本女子大学
10:24	米谷 法子	よねや のりこ	3	東京農工大学
10:26	豊田 安由美	とよた あゆみ	2	筑波大学
10:28	柴田 早斗未	しばた さとみ	2	奈良女子大学
10:30	門間 幸恵	もんま ゆきえ	4	宮城学院女子大学
10:32	伊東 佑初子	いとう ゆうこ	3	筑波大学
10:34	中島 亜香音	なかしま あかね	3	静岡大学
10:36	坂本 涼子	さかもと りょうこ	3	京都橘大学
10:38	川崎 恵子	かわさき けいこ	4	山口大学
10:40	山口 能登美	やまぐち のとみ	4	椋山女学園大学

10:42	水野 恵	みずの けい	3	奈良女子大学
10:44	稲葉 茜	いなば あかね	2	筑波大学
10:46	原 直子	はら なおこ	4	東京女子大学
10:48	西山 絵梨香	にしやま えりか	4	千葉大学
10:50	栗原 真季子	くりはら まきこ	4	日本女子大学
10:52	武村 法	たけむら のり	3	茨城大学
10:54	森澤 寿里	もりさわ じゅり	4	奈良女子大学
10:56	荒井 奈穂美	あらい なほみ	4	宮城学院女子大学
10:58	西田 真梨子	にしだ まりこ	3	京都橘大学
11:00	青島 優	あおしま ゆう	4	津田塾大学
11:02	峯村 綾香	みねむら あやか	4	奈良女子大学
11:04	未確定 B			
11:06	吉田 恵美	よしだ めぐみ	4	新潟大学
11:08	村山 郁代	むらやま ふみよ	4	日本女子大学
11:10	千葉 光絵	ちば みつえ	4	宮城学院女子大学
11:12	小島 裕実	こしま ひろみ	3	立命館大学
11:14	腰山 いづみ	こしやま いづみ	4	椋山女学園大学
11:16	北川 麻季子	きたがわ まきこ	2	立命館大学
11:18	朴峠 周子	ほうとうげ しゅうこ	4	日本女子大学
11:20	若林 希美	わかばやし のぞみ	4	日本女子大学
11:22	未確定 C			
11:24	笠原 綾	かさばら あや	2	日本女子大学
11:26	志度 裕子	しど ゆうこ	4	東京農工大学

WE クラスに関しては、関西で返上された枠がまだ確定していないため、未確定枠が存在します。

7.4 ロンゲ一般の部スタートリスト

MUL1				10:27	鈴木 勇雄	新潟大学	4
9:30	清水 恭平	新潟大学	3	10:28	村上 一輝	東京工業大学	2
9:31	渡辺 雅敏	静岡大学	4	10:29	室川 紘一	新潟大学	4
9:32	田中 翔太	早稲田大学	1	10:30			
9:33	西尾 和也	京都大学	2	10:31	臼井 佑真	静岡大学	2
9:34	三上 智	神戸大学	3	10:32	芹澤 崇	京都大学	3
9:35	丸藤 純	岩手大学	2	10:33	河村 正和	名古屋大学	3
9:36	石崎 秀樹	立命館大学	3	10:34	宮越 崇	早稲田大学	3
9:37	景山 祐	山口大学	3	10:35	山口 拓也	北海道大学	3
9:38	永井 成亮	東北大学	2	10:36	福西 展之	立命館大学	4
9:39	小澤 健太郎	筑波大学	3	10:37	田久保 豊	早稲田大学	3
9:40	中尾 吉男	東京大学	2	10:38	小泉 俊朗	立命館大学	2
9:41	舟根 大輔	茨城大学	3	10:39	山口 能迪	東京大学	4
9:42	鳥居 耕太郎	慶應義塾大学	3	10:40	田中 政任	東京大学	2
9:43	山本 純一	早稲田大学	2	10:41	安達 洋太	静岡大学	2
9:44	高橋 徹	福島大学	3	10:42	青山 尚樹	静岡大学	3
9:45				10:43	清藤 祐三	ICU	4
9:46	青木 大輔	静岡大学	2	10:44	分木 優	立命館大学	3
9:47	桜澤 基史	千葉大学	3	10:45			
9:48	前田 直人	金沢大学	2	10:46	赤塚 祥悟	筑波大学	2
9:49	植村 圭祐	東京大学	4	10:47	厚主 敏治	図書館情報大学	4
9:50	羽賀 岳尋	東京工業大学	3	10:48	山尾 勇介	金沢大学	3
9:51	村上 堯	神戸大学	4	10:49	堀田 秀聡	千葉大学	2
9:52	加藤 陽介	福島大学	2	10:50	栗城 吾央	岩手県立大学	2
9:53	野口 喜朗	金沢大学	4	10:51	西岡 英則	名古屋大学	4
9:54	渡辺 和之	京都大学	2	10:52	田口 裕也	茨城大学	4
9:55	湯山 永久	筑波大学	3	10:53	岩井 稔	早稲田大学	4
9:56	小松 巧実	ICU	2	10:54	高塚 史明	千葉大学	3
9:57	高橋 大輔	岩手大学	2	10:55	不破 喬	東京農工大学	4
9:58	四方田 雄哉	静岡大学	3	10:56	比嘉 友紀	東京工業大学	2
9:59	石井 大生	首都大学東京	4	10:57	石母田 篤	茨城大学	4
10:00				10:58	北村 伸介	東京工業大学	4
10:01	今野 良介	早稲田大学	3	10:59	川添 智由	筑波大学	2
10:02	角森 哲博	岩手大学	2				
10:03	大井 恵介	東北大学	3	MUL2			
10:04	田中 耕史	東京大学	2	9:30	小森 康孝	金沢大学	4
10:05	加藤 真基	京都大学	4	9:31	龍谷 直樹	龍谷大学	3
10:06	石角 直大	京都大学	4	9:32	高田 英司	東北大学	3
10:07	舍利弗 祐介	金沢大学	2	9:33	赤地 祐彦	名古屋大学	4
10:08	多田 奨	新潟大学	3	9:34	福味 亮仲	静岡大学	3
10:09	西崎 隼人	名古屋大学	3	9:35	飯塚 祥太	新潟大学	2
10:10	柏村 育郎	東北大学	2	9:36	林 泰斗	東北大学	2
10:11	纒坂 尚	早稲田大学	6	9:37	神山 康	早稲田大学	2
10:12	村上 巧	東京工業大学	2	9:38	松田 康彦	金沢大学	3
10:13	丹羽 将隆	静岡大学	2	9:39	仲田 貴幸	関西大学	2
10:14	入谷 健元	京都大学	2	9:40	小野原 翔	立命館大学	2
10:15				9:41	佐藤 郷	筑波大学	4
10:16	香川 譲徳	東京農工大学	4	9:42	山崎 啓吾	東京工業大学	2
10:17	長瀬 裕樹	東京大学	3	9:43	横山 恵司	東京農工大学	2
10:18	信末 俊平	大阪大学	3	9:44	土井 理司	静岡大学	2
10:19	五嶋 宏通	京都大学	3	9:45			
10:20	柴田 裕基	立命館大学	2	9:46	稲田 元樹	立命館大学	2
10:21	堀口 裕史	東京農工大学	3	9:47	宮澤 直樹	東京農工大学	3
10:22	羽生 和史	筑波大学	3	9:48	天笠 真吾	金沢大学	3
10:23	上城 圭史	立命館大学	3	9:49	稲垣 孝宣	京都大学	2
10:24	田島 佑輔	大阪大学	3	9:50	石川 潤	東京大学	4
10:25	古澤 徹	東京大学	3	9:51	岩城 徹	東北大学	3
10:26	岩野 翔	金沢大学	3	9:52	下村 英雄	茨城大学	4

9:53	八神 遥介	東北大学	3	10:54	中 清行	神戸大学	2
9:54	野村 佳祐	東京工業大学	2	10:55	柴崎 洋志	山口大学	3
9:55	仲村 健一	京都大学	4	10:56	阿部 寿洋	東京理科大学	2
9:56	佐藤 崇雄	静岡大学	4	10:57	田沢 典彦	東京工業大学	2
9:57	前田 肇	東京大学	2	10:58	井口 弘章	東北大学	4
9:58	松井 弘毅	東京工業大学	3				
9:59	溝川 貴大	東北大学	2				
10:00				WJL			
10:01	佐藤 高浩	早稲田大学	3	9:30	本郷 真弓	金沢大学	3
10:02	湯沢 友豪	東北大学	3	9:31	仲 真子	金沢大学	2
10:03	南部 壮志	神戸大学	2	9:32	西 美保	静岡大学	2
10:04	井上 陽介	岩手大学	3	9:33	八谷 尚美	山口大学	3
10:05	福田 重一	岩手大学	3	9:34	大迫 響子	日本女子大学	3
10:06	佐藤 雅則	新潟大学	4	9:35	高橋 香織	相模女子大学	3
10:07	若林 宗平	北海道大学	3	9:36	大類 景子	茨城大学	2
10:08	高橋 直樹	岩手大学	4	9:37	三矢 麻以	実践女子大学	3
10:09	青木 邦俊	静岡大学	4	9:38	伊藤 美佳	金沢大学	2
10:10	景山 健	早稲田大学	2	9:39	柳川 理恵子	宮城学院女子大学	3
10:11	太田 翔	東京農工大学	4	9:40	並河 朋	椋山女学園大学	4
10:12	岩瀬 祐介	早稲田大学	2	9:41	入江 早紀	京都女子大学	3
10:13	佐々木 崇	新潟大学	2	9:42	小澤 優香	日本女子大学	4
10:14	馬場 政志	大阪大学	4	9:43	水野 利枝子	椋山女学園大学	2
10:15				9:44	黒澤 侑加	日本女子大学	3
10:16	小川 圭介	慶應義塾大学	3	9:45			
10:17	渡辺 裕己	東京大学	3	9:46	井上 鮎美	静岡大学	2
10:18	吉野 信	京都大学	3	9:47	恒川 紗智子	立命館大学	2
10:19	西久保 史明	東京大学	2	9:48	池田 智子	津田塾大学	3
10:20	松井 弘之	東京大学	4	9:49	荻野 宏美	京都女子大学	3
10:21	酒井 伸也	東北大学	3	9:50	平嶋 真季	相模女子大学	2
10:22	緑川 拓也	新潟大学	2	9:51	袴田 優美	実践女子大学	3
10:23	川崎 健志	東北大学	2	9:52	漢那 理絵	相模女子大学	4
10:24	三上 諒	岩手大学	4	9:53	堀 智子	東京農工大学	3
10:25	並木 政憲	筑波大学	2	9:54	荒井 友香	新潟大学	4
10:26	尾崎 健士	千葉大学	3	9:55	石田 有賀里	金沢大学	3
10:27	岩井 俊樹	静岡大学	3	9:56	奥野 侑子	筑波大学	3
10:28	石坂 仁	千葉大学	2	9:57	石蔵 友紀子	津田塾大学	2
10:29	佐藤 啓史	東京大学	3	9:58	菊池 由喜	宮城学院女子大学	3
10:30				9:59	藪田 明野	東京女子大学	2
10:31	成田 充	図書館情報大学	5	10:00			
10:32	登坂 祥大	慶應義塾大学	3	10:01	中島 明日香	京都橘大学	3
10:33	濱崎 嘉久	静岡大学	3	10:02	山下 幸恵	新潟大学	2
10:34	三輪 暁人	茨城大学	2	10:03	川村 麻衣	岩手県立大学	2
10:35	荒川 湊	東京大学	3	10:04	角田 明子	岩手県立大学	3
10:36	関谷 茂樹	東北大学	4	10:05	小山田 牧代	千葉大学	3
10:37	若林 考行	立命館大学	3	10:06	西田 幸代	京都女子大学	4
10:38	小松田 成幸	岩手大学	3	10:07	坂岡 由里江	筑波大学	2
10:39	手塚 宙之	慶應義塾大学	2	10:08	福森 ちさこ	金沢大学	3
10:40	川名 聡	横浜国立大学	2	10:09	岩瀬 可奈	椋山女学園大学	4
10:41	足立 恭兵	慶應義塾大学	2	10:10	白倉 由起	岩手大学	2
10:42	上田 篤史	京都大学	4	10:11	阿久津 麻美	宮城学院女子大学	4
10:43	丹羽 史尋	東京大学	3	10:12	阪井 美紀	茨城大学	2
10:44	男庭 和則	茨城大学	2	10:13	酒井 秋穂	宮城学院女子大学	4
10:45				10:14	中坪 彩香	京都橘大学	3
10:46	浅井 貴弘	岩手大学	3	10:15			
10:47	廣崎 旭宏	東北大学	3	10:16	新谷 紗代子	京都女子大学	4
10:48	那須野 勇人	静岡大学	2	10:17	白石 佳子	日本女子大学	3
10:49	落合 剛	埼玉大学	3	10:18	岩橋 愛	椋山女学園大学	2
10:50	吉田 知峻	東京大学	2	10:19	佐藤 栄子	京都橘大学	4
10:51	近藤 大樹	金沢大学	4	10:20	小西 仁美	京都女子大学	2
10:52	大杉 祥二	筑波大学	2	10:21	鹿嶋 由喜	岩手県立大学	2
10:53	大橋 洋介	慶應義塾大学	2	10:22	石井 沙也香	日本女子大学	2
				10:23	二宮 恵子	山口大学	2

10:24	倉田 陽子	山口大学	3	10:01	雨宮 亨	千葉大学	1
10:25	金子 智美	椋山女学園大学	2	10:02	太田 貴大	東北大学	1
10:26	若林 さゆり	新潟大学	4	10:03	木村 隆二	新潟大学	1
10:27	三輪 あづみ	相模女子大学	4	10:04	加藤 峻一	中央大学	1
10:28	釘持 知美	相模女子大学	3	10:05	菊地 昭文	岩手県立大学	1
10:29	川上 由紀子	新潟大学	3	10:06	千田 浩介	東京工業大学	1
10:30				10:07	西岡 康平	金沢大学	1
10:31	福原 むつみ	宮城学院女子大学	3	10:08	永山 育男	東北大学	1
10:32	中川 美樹	椋山女学園大学	4	10:09	星野 有祐	新潟大学	1
10:33	吉田 都	京都橘大学	4	10:10	小林 正朋	名古屋大学	1
10:34	北川 奈津子	山口大学	3	10:11	小見山 斉彰	千葉大学	1
10:35	日名 有砂	津田塾大学	3	10:12	高木 元輝	東京農工大学	1
10:36	柴田 理恵	椋山女学園大学	4	10:13	谷口 彰登	千葉大学	1
10:37	加藤 彩	奈良女子大学	4	10:14	久保 義次	岩手県立大学	1
10:38	福田 早友里	立命館大学	3	10:15			
10:39	玉木 智子	奈良女子大学	2	10:16	久保 和輝	岩手県立大学	1
10:40	浅上 香織	山口大学	3	10:17	野田 徹	東北大学	1
10:41	町田 由布子	新潟大学	2	10:18	福岡 聡	立命館大学	1
10:42	小林 美幸	金沢大学	3	10:19	伊藤 洋平	静岡大学	1
10:43	村上 冴子	椋山女学園大学	2	10:20	梅本 匠	京都橘大学	1
10:44	山崎 真希子	実践女子大学	3	10:21	森田 昌樹	京都大学	1
10:45				10:22	川口 賢人	京都橘大学	1
10:46	中瀬 沙織	京都橘大学	3	10:23	谷津 弘仁	千葉大学	1
10:47	藤嶋 純子	椋山女学園大学	4	10:24	杉村 和彦	京都橘大学	1
10:48	塚口 淑香	金沢大学	2				
10:49	宮地 紋乃	新潟大学	3	MF2			
10:50	喜多村 唯	新潟大学	3	9:30	植山 潔	関西大学	1
10:51	曾根田 友美	京都橘大学	3	9:31	勝田 弘	東北大学	1
				9:32	武藤 貴昭	東京工業大学	1
MF1				9:33	坂田 周哉	東京大学	1
9:30	熊澤 貴弘	慶應義塾大学	1	9:34	佐藤 克哉	東京農工大学	1
9:31	太田 光雄	岩手県立大学	1	9:35	寺川 拓	静岡大学	1
9:32	山上 陵太	ICU	1	9:36	日浅 巧	大阪大学	1
9:33	佐々木 貴浩	名古屋大学	1	9:37	菅原 大樹	東京大学	1
9:34	大森 祐介	静岡大学	1	9:38	神宮 崇	立命館大学	1
9:35	渡邊 悠貴	慶應義塾大学	1	9:39	千保 翼	金沢大学	1
9:36	富田 康介	大阪大学	1	9:40	石塚 脩之	東北大学	1
9:37	岡崎 智也	東北大学	1	9:41	岸 裕樹	名古屋大学	1
9:38	林 城仁	東京大学	1	9:42	土屋 裕輝	新潟大学	1
9:39	高橋 良平	京都大学	1	9:43	新家 正宏	静岡大学	1
9:40	斉藤 宙也	東京大学	1	9:44	中村 亮太	茨城大学	1
9:41	杉本 知駿	立命館大学	1	9:45			
9:42	久米 航	東北大学	1	9:46	佐橋 一裕	名古屋大学	1
9:43	小倉 幹弘	筑波大学	1	9:47	盛合 宏太	岩手大学	1
9:44	開 達郎	東北大学	1	9:48	石橋 聡士	新潟大学	1
9:45				9:49	定永 悠佑	静岡大学	1
9:46	太田 康博	東京大学	1	9:50	松崎 喜広	静岡大学	1
9:47	佐竹 良祐	岩手県立大学	1	9:51	近藤 友洋	東京工業大学	1
9:48	大平 幸央	東京工業大学	1	9:52	伊藤 将宏	東京工業大学	1
9:49	高田 弘樹	東北大学	1	9:53	高田 公大	静岡大学	1
9:50	石黒 文康	京都大学	1	9:54	中山 史野	東京大学	1
9:51	高橋 良寿	岩手県立大学	1	9:55	片山 智史	東北大学	1
9:52	島田 祐司	東京工業大学	1	9:56	田村 貴文	岩手大学	1
9:53	森 広斗	名古屋大学	1	9:57	瀧藤 理志	静岡大学	1
9:54	川口 洋明	筑波大学	1	9:58	日下 雅広	東北大学	1
9:55	斉田 篤	東京工業大学	1	9:59	西山 浩武	慶應義塾大学	1
9:56	沼岡 達也	新潟大学	1	10:00			
9:57	寺田 則久	東京大学	1	10:01	加藤 雄一	東京農工大学	1
9:58	下堂 文寛	京都橘大学	1	10:02	山元 健	金沢大学	1
9:59	清水 善郎	東北大学	1	10:03	岩崎 慶士	東京農工大学	1
10:00				10:04	崎田 孝文	名古屋大学	1

10:05	辻 尚宏	慶應義塾大学	1	9:52	貝沼 久美恵	実践女子大学	1
10:06	高松 駿	金沢大学	1	9:53	小西 香織	龍谷大学	1
10:07	原田 怜	静岡大学	1	9:54	細川 彩	奈良女子大学	1
10:08	赤沼 仁	岩手県立大学	1	9:55	長田 かなえ	相模女子大学	1
10:09	寺村 大	名古屋大学	1	9:56	谷 久美子	京都女子大学	1
10:10	斉藤 優作	新潟大学	1	9:57	筏 香織	奈良女子大学	1
10:11	小林 知彦	名古屋大学	1	9:58	今井 優里	茨城大学	1
10:12	新井 拓也	慶應義塾大学	1	9:59	田畑 萌結	同志社大学	1
10:13	斎藤 弘	新潟大学	1	10:00			
10:14	栗田 俊輔	東京工業大学	1	10:01	松永 真澄	日本女子大学	1
10:15				10:02	西山 佳織	金沢大学	1
10:16	杳木 知宏	東京大学	1	10:03	関 映子	椋山女学園大学	1
10:17	稲葉 智明	筑波大学	1	10:04	山田 紗衣佳	椋山女学園大学	1
10:18	南部 三王	名古屋大学	1	10:05	鈴木 芙美	奈良女子大学	1
10:19	大浦 宏記	京都大学	1				
10:20	三戸部 佑太	北海道大学	1	MUS			
10:21	奥原 徹	東京大学	1	9:30	渡邊 聡一郎	早稲田大学	2
10:22	宗形 俊	新潟大学	1	9:31	金子 允	東京農業大学	5
10:23	千々岩 瞳	東北大学	1	9:32	前田 青	東京大学	4
10:24	柏 俊輔	東北大学	1	9:33	綾部 孝	茨城大学	4
				9:34	早川 大貴	早稲田大学	2
WF				9:35	沖 裕之	東京工業大学	2
9:30	田川 雅美	京都女子大学	1	9:36	木村 裕策	早稲田大学	2
9:31	渡部 雅子	日本女子大学	1	9:37	志村 公寛	慶應義塾大学	2
9:32	白形 由貴	筑波大学	1	9:38	海野 正英	東京工業大学	4
9:33	小沢 千鶴子	実践女子大学	1	9:39	奥田 雄彦	早稲田大学	2
9:34	川下 響子	京都橘大学	1				
9:35	喜田 麻美	椋山女学園大学	1	WUS			
9:36	田丸 ゆか	相模女子大学	1	9:43	山田 めぐみ	京都女子大学	2
9:37	徳久 紘子	実践女子大学	1	9:44	高橋 弘恵	茨城大学	3
9:38	村上 有紀	京都橘大学	1	9:45	斉藤 桃子	日本女子大学	3
9:39	疋田 はるか	椋山女学園大学	1	9:46	石和 智子	京都女子大学	3
9:40	重松 裕子	椋山女学園大学	1	9:47	石川 裕子	日本女子大学	2
9:41	青山 由希菜	椋山女学園大学	1				
9:42	石丸 貴子	日本女子大学	1	MUB			
9:43	関谷 麻里絵	京都大学	1	9:51	岡庭 俊和	東京大学	2
9:44	新妻 道	津田塾大学	1				
9:45				WUB			
9:46	宮地 知子	椋山女学園大学	1	9:55	湯上 久美子	京都女子大学	2
9:47	酒井 千裕	京都女子大学	1	9:56	金久保 佳江	実践女子大学	2
9:48	阿部 ゆかり	東北大学	1	9:57	村井 愛	京都女子大学	4
9:49	清水 美和	椋山女学園大学	1	9:58	東 美佳	京都女子大学	2
9:50	小口 明子	椋山女学園大学	1	9:59	井上 七保子	東京女子大学	4
9:51	内田 友里恵	相模女子大学	1	10:00	河野 愛生	東京女子大学	2

7.5 トレイル-O 一般の部事前エントリー

TA (53人)				
岩手大学	白倉 由起	2	東京工業大学 田沢 典彦	2
岩手大学	角森 哲博	2	東京工業大学 海野 正英	4
岩手大学	浅井 貴弘	3	東京大学 前田 青	4
岩手大学	井上 陽介	3	東京大学 松井 弘之	4
岩手大学	小松田 成幸	3	東京大学 中尾 吉男	2
岩手大学	福田 重一	3	東京大学 西久保 史明	2
岩手大学	及川 弘文	4	東京大学 前田 肇	2
岩手大学	高橋 直樹	4	静岡大学 濱崎 嘉久	3
東北大学	川崎 健志	2	大阪大学 田島 佑輔	3
東北大学	高田 英司	3	大阪大学 真壁 浩之	4
北海道大学	三戸部 佑太	1	京都大学 仲村 健一	4
北海道大学	山口 拓也	3	京都大学 大西 康平	3
北海道大学	若林 宗平	3	京都大学 西村 徳真	2
岩手県立大学	鹿嶋 由喜	2	立命館大学 福西 展之	4
岩手県立大学	栗城 吾央	2	奈良女子大学 峯村 綾香	4
岩手県立大学	角田 明子	3		
茨城大学	綾部 孝	4	TN (21人)	
茨城大学	石母田 篤	4	岩手県立大学 太田 光雄	1
茨城大学	田口 裕也	4	岩手県立大学 菊地 昭文	1
茨城大学	高橋 弘恵	3	岩手県立大学 高橋 良寿	1
茨城大学	武村 法	3	茨城大学 今井 優里	1
茨城大学	舟根 大輔	3	茨城大学 中村 亮太	1
茨城大学	大類 景子	2	東京工業大学 柴本 浩児	1
茨城大学	阪井 美紀	2	東京工業大学 近藤 友洋	1
茨城大学	早瀬 悠	2	東京工業大学 伊藤 将宏	1
茨城大学	三輪 暁人	2	東京工業大学 大平 幸央	1
図書館情報大学	厚主 敏治	4	東京工業大学 栗田 俊輔	1
図書館情報大学	高橋 雄哉	4	東京工業大学 島田 祐司	1
図書館情報大学	成田 充	5	東京工業大学 武藤 貴昭	1
東京工業大学	岡 英樹	4	東京工業大学 千田 浩介	1
東京工業大学	高瀬 悠太	3	東京工業大学 斉田 篤	1
東京工業大学	小山 温史	2	東京工業大学 齊田 篤	1
東京工業大学	北村 伸介	4	東京大学 沓木 知宏	1
東京工業大学	松井 弘毅	3	京都女子大学 東 美佳	2
東京工業大学	羽賀 岳尋	3	京都女子大学 小西 仁美	2
東京工業大学	村上 一輝	2	京都女子大学 湯上 久美子	2
東京工業大学	村上 巧	2	京都女子大学 酒井 千裕	1
東京工業大学	比嘉 友紀	2	京都女子大学 谷 久美子	1
			奈良女子大学 細川 彩	1

8 歴代優勝者紹介

第1回 1979年 3月 4日 東京都八王子市

男子	1 小山 格	4 早稲田	1:15:21	女子	1 長田 由紀	1 学習院女子短期	1:21:23
	2 山岸 倫也	2 早稲田	1:18:17		2 井手 裕子	3 上智	1:29:47
	3 清水 真一	4 中央	1:21:44		3 上野多佳子	4 千葉	1:31:10
	4 高尾 昭次	3 横浜国立	1:22:52		4 出水 久子	4 青山学院	1:35:59
	5 鈴木 規弘	3 東京都立	1:24:49		5 飯島 重子	2 千葉	1:36:48
	6 安藤 尚一	3 東京	1:25:56		6 江口理恵子	2 筑波	1:52:18

第2回 1980年 3月 9日 埼玉県滑川村・嵐山町

男子	1 小山 格	5 早稲田	1:11:45	女子	1 飯島 重子	3 千葉	1:09:55
	2 村越 真	1 東京	1:13:39		2 井手 裕子	4 上智	1:09:56
	3 高尾 昭次	4 横浜国立	1:16:59		3 田中 和子	3 都留文科	1:12:44
	4 西田 伸一	4 京都	1:22:25		4 長田 由紀	2 学習院女子短期	1:15:24
	5 山岸 倫也	3 早稲田	1:24:16		5 後藤 弥生	3 愛知	1:22:13
	6 栗田 健一	4 横浜国立	1:24:43		6 山岸 美織	1 大妻女子短期	1:22:28

第3回 1981年 3月 7・8日 茨城県高萩市・十王町

男子	1 村越 真	2 東京	1:19:21	女子	1 山岸 美織	2 大妻女子短期	1:37:01
	2 山岸 倫也	4 早稲田	1:35:13		2 飯島 重子	4 千葉	1:46:59
	3 土屋 定雄	3 筑波	1:36:29		3 千村 敦子	2 横浜国立	1:48:25
	4 池田 博	2 横浜国立	1:43:15		4 原沢 範子	2 横浜国立	1:52:17
	5 今井 将也	3 上智	1:44:09		5 田中 和子	4 都留文科	1:56:58
	6 山本 耕史	4 愛知	1:46:20		6 広瀬 順子	4 筑波	2:00:07

第4回 1982年 3月 6・7日 千葉県木更津市

男子	1 村越 真	3 東京	1:27:27	女子	1 谷津千恵美	3 筑波	1:09:04
	2 桜井 種生	3 筑波	1:40:14		2 中村 敬子	4 法政	1:19:22
	3 斉藤 和助	2 法政	1:41:30		3 村田 容子	3 筑波	1:19:33
	4 土屋 定雄	4 筑波	1:42:34		4 千村 敦子	3 横浜国立	1:22:34
	5 豊島 利男	3 早稲田	1:43:20		5 高島 康代	2 東京女子	1:27:21
	6 宮川 達哉	1 早稲田	1:43:26		6 高田 智代	4 静岡	1:29:31

第5回 1983年 3月 5・6日 静岡県富士宮市

男子	1 村越 真	4 東京	1:16:18	女子	1 佐藤 和恵	2 千葉	1:13:05
	2 多田 正純	4 筑波	1:29:45		2 有村知江子	1 筑波	1:18:00
	3 宮川 達哉	2 早稲田	1:33:17		3 吉松 積子	2 多摩美術	1:19:44
	4 松島 寿	3 東北	1:35:31		4 橋本 貴子	2 東京	1:21:10
	5 赤塚 宏	3 京都府立	1:38:13		5 西村ますみ	2 慶應義塾	1:22:10
	6 藤平 正敏	3 明治	1:38:16		6 提山 真理	3 山口	1:22:17

第6回 1984年 3月 3・4日 大阪府豊能町・京都府京都市

男子	1 福島 弘幸	4 東京	1:34:26	女子	1 角田 明子	3 東京農工	1:35:59
	2 宇佐美俊哉	4 東京理科	1:47:24		2 新沢 祐子	3 筑波	1:39:14
	3 斉藤 和助	4 法政	1:49:25		3 秋山 裕子	3 図書館情報	1:41:02
	4 宮川 達哉	3 早稲田	1:50:28		4 佐藤 和恵	3 千葉	1:52:19
	5 桜井 剛	2 横浜国立	1:50:37		5 鶴岡千津子	2 千葉	1:57:05
	6 吉田 勉	2 立教	1:50:45		6 有村知江子	2 筑波	1:58:29

第7回 1985年 3月 15~ 17日 栃木市日光市・今市市

男子	1 埴 信弘	4 東京	1:27:54	女子	1 角田 明子	4 東京農工	1:22:18
	2 大橋 晴彦	4 東京	1:28:45		2 西村ますみ	4 慶應義塾	1:25:48
	3 斎藤 宏顕	4 千葉	1:28:46		3 新沢 祐子	4 筑波	1:27:08
	4 石村 悟	3 早稲田	1:29:11		4 秋山 裕子	4 図書館情報	1:31:54
	5 今原誠一郎	3 千葉	1:30:52		5 鈴木 繁美	4 千葉	1:37:31
	6 宮川 達哉	4 早稲田	1:32:06		6 鶴岡千津子	3 千葉	1:44:38

第8回	1986年 3月 14~ 16日	長野県駒ヶ根市・高森町
男子	1 佐藤 信彦 3 東京 1:24:29	女子 1 有村知江子 4 筑波 1:01:01
	2 稲葉 英雄 4 名古屋 1:31:21	2 吉田千登勢 3 お茶の水女子 1:09:11
	3 石原誠一郎 4 千葉 1:34:10	3 小林真由美 3 筑波 1:12:12
	3 瀧川 英雄 3 神戸 1:34:10	4 加藤 真紀 3 千葉 1:13:16
	5 今村 悟 4 早稲田 1:34:44	5 清水裕輝子 2 学習院女子短期 1:15:23
	6 戸田 淳 3 東京 1:35:06	6 杉本 綾 2 立教 1:16:52

第9回	1987年 3月 13~ 15日	愛知県蒲郡市・作手村・下山村・額田町
男子	1 瀧川 英雄 4 神戸 1:35:16	女子 1 原 和泉 4 お茶の水女子 1:14:05
	2 広江 淳良 4 東京 1:40:15	2 稲田美穂子 4 筑波 1:17:50
	3 丸山 哲史 1 日本体育 1:43:07	3 橋本祐美子 4 日本女子 1:18:05
	4 竹内 藤雄 4 東京農工 1:44:36	4 吉田千登勢 4 お茶の水女子 1:19:40
	5 柳沢 貴 4 千葉 1:45:51	5 米田 泰子 3 お茶の水女子 1:24:38
	6 泉 通博 4 東京 1:46:30	6 深田 幸子 3 筑波 1:27:05

第10回	1988年 3月 11~ 13日	群馬県安中市・松井田町・妙義町
男子	1 香取 伸嘉 3 千葉 1:32:35	女子 1 深田 幸子 4 筑波 0:59:28
	2 大嶽 俊秀 4 東京学芸 1:37:25	2 黒田 朱美 3 お茶の水女子 1:01:50
	3 伊藤 史朗 4 東京 1:38:35	3 小久保佐知子 3 お茶の水女子 1:07:02
	4 井上 修 4 早稲田 1:39:06	4 嶋田 真弓 4 千葉 1:08:14
	5 稲垣 智彦 4 筑波 1:40:17	5 谷口 恭子 1 津田塾 1:09:22
	6 丸山 哲史 2 日本体育 1:40:40	6 阿部今日子 3 専修 1:11:32

第11回	1989年 3月 10~ 12日	奈良県奈良市・桜井市・榛原町・都祁村・室生村
男子	1 井上健太郎 4 大阪 1:31:33	女子 1 黒田 朱美 4 お茶の水女子 1:20:05
	2 伊東 真一 4 筑波 1:34:14	2 阿部今日子 4 専修 1:21:39
	3 前野 直樹 4 早稲田 1:34:32	3 渡辺 乃英 3 名城 1:23:44
	4 丸山 哲史 3 日本体育 1:38:23	4 石川 正子 3 お茶の水女子 1:24:35
	5 飯塚 靖 4 慶應義塾 1:38:31	5 渡辺 祐子 4 東京 1:25:10
	6 羽鳥 和重 4 早稲田 1:39:33	6 田中 拓美 4 千葉 1:26:36

第12回	1990年 3月 16~ 18日	埼玉県秩父市・横瀬町
男子	1 樋口 一志 4 東京 1:13:23	女子 1 熊林あゆみ 3 筑波 1:03:08
	2 鹿島田浩二 1 東京 1:14:15	2 平山寿美子 2 静岡 1:10:18
	3 丸山 哲史 4 日本体育 1:16:03	3 石田小百合 2 筑波 1:13:04
	4 中村弘太郎 2 京都 1:18:21	4 佐藤 尚子 2 静岡 1:13:53
	5 宇野 裕人 3 横浜国立 1:20:14	5 田垣 尚美 3 日本女子 1:13:57
	6 菊池 正昭 2 東北 1:22:35	6 濱田 由紀 2 千葉 1:14:49

第13回	1991年 3月 15~ 17日	岐阜県中津川市・恵那市・坂下町・福岡町・川上村・長野県南木曾町・山口村
男子	1 井上 直丈 3 名古屋 1:48:55	女子 1 金子しのぶ 4 横浜国立 1:02:04
	2 中村弘太郎 3 京都 1:50:07	2 熊林あゆみ 4 筑波 1:02:36
	3 鹿島田浩二 2 東京 1:50:36	3 岡田 光代 2 横浜国立 1:03:38
	4 広瀬 二郎 4 横浜国立 1:52:48	4 福士 淑子 3 千葉 1:04:58
	5 利光 良平 3 駒沢 1:57:17	5 田垣 尚美 4 日本女子 1:07:12
	6 森 一申 2 東京農業 2:02:27	6 加納 尚子 3 京都女子 1:07:48

第14回	1992年 3月 13~ 15日	栃木県今市市・日光市
男子	1 鹿島田浩二 3 東京 1:13:14	女子 1 小西 陽子 3 筑波 1:07:21
	2 国沢 五月 4 一橋 1:15:37	2 田島 利佳 2 武蔵野女子短期 1:07:45
	3 加賀屋博文 4 筑波 1:18:13	3 福士 淑子 4 千葉 1:09:03
	4 中村弘太郎 4 京都 1:18:17	4 苗村 恵子 3 相模女子 1:10:46
	5 菊池 正昭 4 東北 1:21:39	5 奥山 陽子 3 相模女子 1:11:39
	6 井上 直丈 4 名古屋 1:21:56	6 岡田 光代 3 横浜国立 1:13:32

第15回	1993年 3月 12~ 14日	滋賀県大津市・土山町・志賀町
男子	1 鹿島田浩二 4 東京 1:18:15	女子 1 奥山 陽子 4 相模女子 1:00:32
	2 小長井信宏 4 京都 1:19:51	2 長岡 理恵 4 千葉 1:01:22
	3 入江 崇 2 東北 1:20:49	3 金田 収子 2 静岡 1:03:15
	4 小山 博史 4 東北 1:22:21	4 石川恵美子 3 東北 1:04:51
	5 高橋 政明 4 千葉 1:23:32	5 渡辺 初美 4 日本女子 1:05:22
	6 塚本 治三 4 早稲田 1:23:38	6 中野 宏美 2 静岡 1:05:35

第16回	1994年 3月 11~ 13日	群馬県渋川市・伊香保町・東村
男子	1 入江 崇 3 東北 1:19:40	女子 1 金並 由香 4 早稲田 1:03:41
	2 桜井 太郎 4 東京 1:29:14	2 酒井 佳子 4 北海道 1:10:30
	3 安斉 秀樹 4 東北 1:29:19	3 金田 収子 3 静岡 1:11:13
	4 松澤 俊行 3 東北 1:30:14	4 志村 聡子 3 早稲田 1:12:47
	5 鈴木 卓弥 4 東京 1:31:34	5 稲村 仁美 3 広島 1:12:48
	6 白神 謙吾 4 京都 1:32:27	6 植田 佳子 3 広島 1:13:11

第17回	1995年 3月 10~ 12日	静岡県富士市・富士宮市・裾野市
男子	1 入江 崇 4 東北 1:22:29	女子 1 金田 収子 4 静岡 0:59:14
	2 松澤 俊行 4 東北 1:24:38	2 山口 純子 3 名古屋 1:01:49
	3 藤城 公久 3 筑波 1:26:43	3 志村 聡子 4 早稲田 1:04:31
	4 内田 恵司 4 北海道 1:28:01	4 三宅 朋美 4 津田塾 1:04:36
	5 小林 哲 4 静岡 1:29:24	5 小山由美子 3 筑波 1:06:12
	6 野田 昇作 3 北海道 1:30:07	6 林 ゆかり 3 筑波 1:06:22

第18回	1996年 3月 8~ 10日	栃木県今市市・日光市
男子	1 藤城 公久 4 筑波 1:17:50	女子 1 中村 正子 3 筑波 1:02:59
	2 山口 大助 2 千葉 1:19:14	2 小山由美子 4 筑波 1:03:39
	3 柿並 義宏 4 東北 1:20:17	3 小林 るみ子 3 新潟 1:07:04
	4 野田 健史 4 東北 1:20:47	4 山本 康世 4 国際基督教 1:07:36
	5 大西 淳一 4 東京 1:20:55	5 原 志保子 4 静岡 1:08:40
	6 世古口裕史 3 東京工業 1:22:30	6 片岡由起子 4 筑波 1:08:50

第19回	1997年 3月 7~ 9日	奈良県奈良市・桜井市・榛原町・都祁村
男子	1 太田 晃弘 4 東京 1:21:13	女子 1 中村 正子 4 筑波 1:04:01
	2 寺内 亮太 4 東北 1:21:31	2 小林 るみ子 4 新潟 1:08:02
	3 白土 英治 3 東北 1:22:38	3 堀出 知里 3 筑波 1:13:16
	4 美濃部 篤 3 筑波 1:22:39	4 丹羽美智子 3 東北 1:17:14
	5 出島 秀一 4 東北 1:23:28	5 池田 祐子 4 北海道 1:17:38
	6 羽柴 公貴 4 早稲田 1:25:37	6 堀井 亜紀 3 筑波 1:18:11

第20回	1998年 3月 6~ 8日	茨城県高萩市・里美村
男子	1 佐藤 時則 4 東北 1:23:18	女子 1 金子 恵美 4 東京女子 1:09:29
	2 石井 泰朗 3 東北 1:23:25	2 渡辺 円香 4 筑波 1:13:53
	3 土屋 周史 4 京都 1:23:46	3 佐々木峰子 4 筑波 1:14:08
	4 近藤 貴文 4 東京 1:25:26	4 大谷 由樹 3 筑波 1:16:19
	5 小暮喜代志 4 筑波 1:30:01	5 堀井 亜紀 4 筑波 1:16:43
	6 斎藤 創一 4 筑波 1:31:01	6 河野みどり 4 北海道 1:17:53

第21回	1999年 3月 12~ 14日	山口県山口市・秋芳町・美東町
男子	1 石井 泰朗 4 東北 1:13:04	女子 1 大谷 由樹 4 筑波 1:08:08
	2 村上 健介 4 筑波 1:13:11	2 安井 千晶 4 京都橘女子 1:08:24
	3 小野田雄介 3 東北 1:18:34	3 佐藤 渚 4 京都橘女子 1:09:35
	4 内山 裕史 3 東京 1:19:06	4 塩田 美佐 2 筑波 1:12:38
	5 水嶋 孝久 4 静岡 1:20:20	5 小林 啓恵 2 東北 1:13:22
	6 篠原 岳夫 3 筑波 1:20:58	6 上松佐知子 2 筑波 1:13:59

第22回	2000年 3月 10~ 12日		栃木県今市市・日光市			
男子	1 高橋 善徳	4 筑波	1:29:08	女子 1 小林 啓恵	3 東北	1:08:34
	2 篠原 岳夫	4 筑波	1:30:51	2 上松佐知子	3 筑波	1:11:50
	3 小野田雄介	4 東北	1:31:23	3 塩田 美佐	3 筑波	1:15:50
	4 安井 真人	3 早稲田	1:33:06	4 番場 洋子	2 京都	1:16:29
	5 内山 裕史	4 東京	1:33:11	5 近藤 寛子	4 国際基督教	1:25:06
	6 紺野 俊介	3 早稲田	1:33:22	6 深沢 博子	4 東京農工	1:26:33

第23回	2001年 3月 9~ 11日		愛知県作手村 新城市			
男子	1 安井 真人	4 早稲田	1:10:55	女子 1 番場 洋子	3 京都	0:57:01
	2 金澤 拓哉	3 東北	1:11:05	2 小林 啓恵	4 東北	1:00:56
	3 紺野 俊介	4 早稲田	1:11:17	3 横江 君香	4 京都橘女子	1:02:20
	4 許田 重治	3 京都	1:16:44	4 上松佐知子	4 筑波	1:03:38
	4 加藤 弘之	3 東京	1:16:44	5 塩田 美佐	4 筑波	1:04:25
	6 猪飼 雅	4 金沢	1:19:53	6 池田和香子	4 東北	1:05:13

第24回	2002年 3月 8~ 10日		栃木県矢板市 塩谷町			
男子	1 小泉 成行	4 筑波	1:11:34	女子 1 番場 洋子	4 京都	1:05:24
	2 許田 重治	4 京都	1:14:06	2 宮内佐季子	1 京都	1:05:37
	3 金澤 拓哉	4 東北	1:14:16	3 石川 裕理	3 京都	1:13:16
	4 大嶋 真謙	4 北海道	1:14:35	4 大塚 泰恵	2 金沢	1:17:42
	5 青木 博人	2 東京	1:16:30	5 山本 真美	4 東京女子	1:23:20
	6 佐々木良宣	3 筑波	1:18:16	6 高橋ひろみ	4 慶應義塾	1:24:10

第25回	2003年 3月 7~ 9日		愛知県東加茂郡下山村			
男子	1 禅洲 拓	4 東北	1:24:47	女子 1 宮内佐季子	2 京都	1:09:56
	2 西尾 信寛	4 京都	1:25:51	2 石川 裕理	4 京都	1:11:25
	3 吉田 武生	3 京都	1:25:55	3 黒河 幸子	4 筑波	1:16:38
	4 小熊 武彦	3 東京	1:28:49	4 姫野 祐子	3 東北	1:20:24
	5 浜田 尚	2 東北	1:29:19	5 田島 聖子	4 東京女子	1:20:27
	6 李 敬史	3 静岡	1:29:22	6 花木 睦子	2 千葉	1:27:53

第26回	2004年 3月 12~ 14日		三重県名張市 名賀郡青山町			
男子	1 寺垣内 航	4 早稲田	1:06:16	女子 1 姫野 祐子	4 東北	0:58:51
	2 久野 雄介	4 東京	1:08:24	2 高野麻記子	4 筑波	1:00:54
	3 櫻本信一郎	4 東北	1:09:35	3 浅井 千穂	4 京都	1:00:57
	4 新宅 有太	4 京都	1:10:56	4 皆川美紀子	4 東京農工	1:02:51
	5 吉田 武生	4 京都	1:11:06	5 桑野 文	3 京都橘女子	1:07:13
	6 山下 智之	3 東京農工	1:11:13	6 若木まゆ	4 京都	1:08:45

第27回	2004年 11月 7日		愛知県東加茂郡下山村 額田郡額田町			
男子	1 坂本 貴史	4 筑波	1:22:57	女子 1 原 直子	3 東京女子	1:05:43
	2 高橋 雄哉	3 図書館情報	1:23:07	2 朴峠 周子	3 日本女子	1:13:54
	3 前田 裕太	4 東京工業	1:24:41	3 峯村 綾香	3 奈良女子	1:16:06
	4 後藤 大輔	4 東北	1:26:13	4 志度 裕子	3 東京農工	1:19:33
	5 小野田剛太	4 京都	1:27:04	5 桑野 文	4 京都橘女子	1:20:30
	6 山下 智之	4 東京農工	1:27:10	6 塚八ゆかり	4 京都橘女子	1:21:16

第26回大会までは春の選手権においてクラシックディスタンスによる個人戦が行われていたが、第27回大会より従来の秋と春の選手権を統一し、秋にロングディスタンス競技部門が行われるようになった。

(記録整理: 広江 淳良 / 日本学生オリエンテーリング連盟理事)
(記録整理: 土方 隆 / 日本学生オリエンテーリング連盟理事)

10 日本学生オリエンテーリング選手権大会実施規則

条項に(ロング), (ミドル), (リレー)とある場合, 当該条項は, 該当する競技部門にのみ適用される。

第1章 全般的な規則

第1条 規則の適用

- 1.1 この規則は, 日本学生オリエンテーリング連盟(以下, 日本学連と略す)が主催する, 日本学生オリエンテーリング選手権大会(以下, インカレと略す)に適用される。
- 1.2 すべての選手登録者, 選手を支援する者(以下, チームオフィシャル), 競技を運営する者及びその他の併設大会参加者・観戦者・報道関係者など選手権競技者と接する者は, この規則に従う。
- 1.3 競技者ならびに主管者は, この規則の解釈にあたっては, スポーツとしての公正さの保持を第一義としなければならない。
- 1.4 インカレ実施規則で定められた事項を, 当該インカレに限定して不適用とし, 変更する必要がある場合, 技術委員会の諮問及び理事会の承認を必要とする。不適用条項と変更内容は, 要項に明記される。

第2条 競技部門と競技形態・種別

- 2.1 インカレは, 次の6つの競技部門を設ける。
男子ロング: 個人ロング・ディスタンス競技部門
女子ロング: 個人ロング・ディスタンス競技部門
男子ミドル: 個人ミドル・ディスタンス競技部門
女子ミドル: 個人ミドル・ディスタンス競技部門
男子リレー: 3名のリレー競技部門
女子リレー: 3名のリレー競技部門

2.2 インカレは, すべて昼間競技で行う。
(ロング, リレー)

2.3 ロング, リレーは, 単一レース競技で行う。

(ミドル)

2.4 ミドルは, 予選・決勝レース競技で行う。

2.5 インカレは, すべてポイント競技で行う。

2.6 男子ロング・女子ロングにおける優勝者をロング・ディスタンス競技選手権者, 男子ミドル・女子ミドルにおける優勝者をミドル・ディスタンス競技選手権者, 男子リレー・女子リレーにおける優勝校をリレー競技選手権校とする。

第3条 日程

3.1 インカレの各競技部門の開催は, 年1回とする。

3.2 インカレの日程と正式名称は, 原則として次のとおりとする。

秋インカレ(8月~12月): ロング
春インカレ(1月~3月):

第1日 ミドル 午前: 予選
午後: 決勝

第2日 リレー

3.3 インカレは, 開会式, 閉会式を別途行うことができる。

第4条 参加規定

4.1 選手権競技者は, 以下のすべての条件を満たす。

- ・日本学連の加盟員であること
- ・初めて日本学連に登録した年度から数えて4年以内
- ・年齢は当該年度3月31日現在29歳未満

4.2 各加盟校及び各準加盟校(以下, 各校と略す)は, 選手権競技者資格を有する者からなる選手登録名簿を申し込み時に提出する。

(ロング)

- 4.3 ロングの競技者数は、男子 60 名、女子 40 名とし、別に定める規則によって各地区学連に配分される。但し、別に定める規則によって、競技者数を追加することができる。ロングの競技者は、選手登録名簿に記載された者とする。

(ミドル)

- 4.4 ミドルの競技者数は、男子 160 名、女子 70 名とし、別に定める規則によって各地区学連に配分される。但し、別に定める規則によって、競技者数を追加することができる。ミドルの競技者は、選手登録名簿に記載された者とする。

(リレー)

- 4.5 リレーの出場資格校は、日本学連の加盟校及び準加盟校とする。各校は、男女各々 1 チームをリレーに出場させることができる。リレーのチームは、選手登録名簿に記載された者により構成される。但し、男子リレーに女子選手を出場させることができる。
- 4.6 各校は、選手登録者とは別に、チームオフィシャルを同行させることができる。各校に認められるチームオフィシャルの人数は、以下のとおりとする。男子クラスの選手登録に対して 2 名、女子クラスの選手登録に対して 2 名
- a チームオフィシャル登録者は、以下のいずれかの条件を満たす。
- ・日本学連の加盟員であること
 - ・日本学連の評議員であること
 - ・日本学連の賛助会員であること
- b 各校は、チームオフィシャル資格を有する者からなるチームオフィシャル登録名簿を申し込み時に提出する。
- 4.7 参加者は、自己の安全に対して自分で責任を負う。参加者が負った怪我、障害、損害について主催者は一切責任をもたない。また、参加者が第三者に与えた損害についても参加者自身が責任を負う。

第 5 条 要項

- 5.1 主管者は、インカレに関する必要な情報を、要項としてすべての地区学連及び日本学連事務局へ送付する。
- 5.2 インカレの要項の発行時期は、以下の通りとする。

要項 1 (11 カ月前) :

開催日、開催地、主管者の連絡先、競技責任者の氏名、イベント・アドバイザーの氏名、立入禁止区域

要項 2 (4 カ月前) :

日程、トレインの概要、地図に関する情報(縮尺、等高線間隔、走行可能度表示)、トレインの標高(コースの 15%以上が 1,200m を超える場合のみ)、採用するパンチングシステム、コース設定者の氏名、トレーニング・モデルイベントに関する情報、一般クラス・併設大会がある場合その情報、観戦者のための情報、宿泊・輸送に関する情報、参加費、申込方法、申込締切日、申込用紙

要項 3 (2 週間前) :

気象、特殊な地図表記、コース距離・登距離、特殊な位置説明、スタート時刻、競技のタイムスケジュール、集合場所、代表者ミーティングに関する情報、承認された実施規則の不適用条項と変更内容、その他競技に関する留意事項

第 6 条 申し込み

- 6.1 インカレの申し込みは、所定の用紙によって、要項 2 に示された締切日までに行われる。但し、選手登録名簿の変更は、大会開催の 6 週間前まで認められる。

(ロング)

- 6.2 各地区学連の代表者は、ロングにおいて、競技前日の 16 時までであれば、競技者を交替させることができる。

(ミドル)

- 6.3 ミドルにおいては、第6条第1項に定める期間を超えて、予選の競技者を交替させることはできない。

(リレー)

- 6.4 リレー出場校は、リレーの競技者と競技順を競技前日の16時までに提出する。競技者に不慮の事故の場合、リレー競技開始1時間前までであれば競技者を交替させることができる。但し、この場合は裁定委員の承認を必要とする。

第7条 トレーニングとモデルイベント

- 7.1 事前に実際の競技で使用するものに似たトレイン・地図でのトレーニングの機会が提供されることが望ましい。
- 7.2 競技の前日に、モデルイベントが提供されることが望ましい。モデルイベントでは、実際の競技におけるトレインのタイプ、地図の質、コントロールの置かれる特徴物、コントロール器具の設置状態、給水コントロールの設置状態、誘導区間のそれぞれの状況がわかることが望ましい。
- 7.3 電子パンチングシステムを使用する場合、モデルイベントにおいて実際の競技に用いる器具の使用機会が提供されることが望ましい。

第8条 スタート順の決定とスタートリスト (ロング、ミドル)

- 8.1 ロング、ミドル予選のスタート抽選は、公平な立会人の元で、あるいは公開で行われ、当該競技前日の17時までには発表される。

(ロング)

- 8.2 ロングにおいては、スタート順等において配慮される競技者(シード選手)を設けることができる。シード選手は、競技開催1カ月前までに理事会が決定する。人数は男子10名以内、女子7名以内とする。

(ロング)

- 8.3 ロングは、男女それぞれ1人ずつ同一

の時間間隔でスタートする(タイムスタート)。スタート間隔は、少なくとも2分間はとるものとする。

(ミドル)

- 8.4 ミドルにおいては、各地区学連の選手は、各予選組になるべく均等な人数となるよう振り分けられる。

(ミドル)

- 8.5 ミドル予選のスタート組順等において配慮される競技者(シード選手)を設けることができる。シード選手は、各予選組になるべく均等な人数となるよう振り分けられる。シード選手は、競技開催1カ月前までに理事会が決定する。人数は男子16名以内、女子10名以内とする。

(ミドル)

- 8.6 ミドル予選、決勝とも同一の時間間隔でスタートする(タイムスタート)。ミドル予選のスタート間隔は、少なくとも1分間はとるものとし、ミドル決勝のスタート間隔は、少なくとも2分間はとるものとする。

(リレー)

- 8.7 リレーにおけるコースの組み合わせの抽選は、公平な立会人の元で、あるいは公開で行われる。コースの組み合わせは、最後の競技者がスタートするまで秘密にされる。

(リレー)

- 8.8 リレーのスタートは、マススタートとする。

第9条 成績

- 9.1 成績速報は、競技進行中順次掲示される。フィニッシュ閉鎖後1時間以内にすべて掲示される。
- 9.2 公式成績には、失格者も含めすべての競技者が記載される。リレーの成績は、競技順・各競技者の名前と所要時間・コースの分割方法と組み合わせも記載される。

第10条 調査依頼と提訴

- 10.1 各校は、競技者、あるいは管理者の規

則に対する違反についての調査依頼を行うことができる。調査依頼は、主管者に対し文書で行う。成績速報に関する調査依頼は、フィニッシュ閉鎖後1時間以内に行う。

- 10.2 調査依頼に対する主管者の回答に疑義がある場合、提訴を行うことができる。提訴は、裁定委員会に対し文書で行う。

第11条 表彰

- 11.1 各競技部門6位までを表彰する。
11.2 参考記録の者及び学校は表彰の対象とされない。

第12条 報告書

- 12.1 各競技終了後3カ月以内に、主管者は次の内容の報告書を作成する。
- ・大会実施報告
 - ・スタート順と公式成績
 - ・イベント・アドバイザーの報告
 - ・将来への提言
- 12.2 報告書は、すべての加盟校及び準加盟校、日本学連事務局、及び次年度の主管者に送付される。

第2章 競技に関する規則

第13条 テレイン

- 13.1 テレインは、インカレのコース設定に適していなければならない。テレインの選定に際しては、環境保護に十分留意しなければならない。
- 13.2 特定の競技者が有利になることがないように、インカレ以前には出来るだけ長い期間、オリエンテーリングに使用されていないものとする。

第14条 コース

- 14.1 インカレのコース設定にあたっては、国際オリエンテーリング連盟（IOF）の『コース設定の原則』に従う。
- 14.2 コースの水準は、インカレに適格でなければならない。
- 14.3 コントロールを回る順番は、主管者に

よって指定される。競技者はこれを守り、主管者はこれを確認する。

- 14.4 コース上の誘導区間は、競技者は必ずこれをたどるものとする。誘導区間の開始地点には必ずコントロールを置く。
- 14.5 男子コースと女子コースは、可能な限り別のコントロールを用いる。

(ミドル)

- 14.6 ミドルでは、予選コースと決勝コースは、可能な限り別のコントロールを用いる。
- 14.7 選手権以外のコースがある場合、可能な限りコントロールは別のものを用いる。
- 14.8 リレーでは、コントロールは分割され、チームごとに別々に組み合わされる。全チームが順番は異なっても、全体としては同一のコースを回る。組み合わせは、全区間にわたることが望ましい。
- 14.9 主管者は、環境保護のための指示を競技者に与えることができる。競技者は、これを厳守しなければならない。

(ミドル)

第15条 ミドル予選

- 15.1 予選は各組が均等な人数になるよう、男子を第1組、第2組、第3組、第4組に、女子を第1組、第2組に分けて行われる。予選各組の距離、登距離、難易度は同程度とする。
- 15.2 予選の競技時間は1時間以内とし、これを越えた者は失格となり、決勝へは進出できない。予選のフィニッシュは、予選の最終スタートの1時間後に閉鎖する。
- 15.3 男子予選各組の上位10位までの者、女子予選各組の上位12名までの者が、決勝に進出する。予選同組内において、同着により男子10名以上が10位以内、女子12名以上の者が12位以内となった場合は、その全員が決勝に進出する。

(ミドル)

第16条 ミドル決勝

- 16.1 決勝は、予選のフィニッシュ閉鎖から

60 分以内にスタートリストを発表し、予選のフィニッシュ閉鎖から 2 時間以上経過してから競技を開始することが望ましい。

- 16.2 決勝のスタートは、予選通過順位下位の者から行う。予選他組の同順位者は、第 1 組が最初に、第 2 組が 2 番目に、第 3 組が 3 番目に（男子のみ）、第 4 組が 4 番目に（男子のみ）行う。予選同組内で同順位者が複数いる場合、予選のスタート時刻が先の者を上位と見なして決勝のスタート順に反映させる。
- 16.3 決勝を欠場する者がいた場合、予選不通過者からの補充は行わない。
- 16.4 決勝の競技時間は 1 時間以内とし、これを越えた者は失格となり、表彰の対象にならない。決勝のフィニッシュは、決勝の最終スタートの 1 時間後に閉鎖する。

第 17 条 距離と登距離

- 17.1 コースは、以下の優勝時間を想定し、設定される。

	男子	女子
ロング	80 分	65 分
ミドル予選	20 分	20 分
ミドル決勝	25 分	25 分
リレー(各競技者)	50 分	50 分

- 17.2 コース距離は、スタートからすべてのコントロールを経由してフィニッシュまでの直線距離で示される。但し、物理的に通過不能な障害物(高いフェンス、湖、通れない崖等)、立ち入り禁止区域および誘導区間は、迂回した距離で測定する。
- 17.3 コース距離は、要項 3 で実際のコース距離が発表される。
- 17.4 登距離は最も速く走れると予想されるルートの登距離で示される。ロングの登距離は、最も速く走れると予想されるルートの距離の 6 % を越えないように設定される。ミドル、リレーの登距離は、最も速く走れると予想されるルートの距離の 5 % を越えないように設定される。
- 17.5 登距離は要項 3 で実際の登距離が発表

される。

第 18 条 地図

- 18.1 地図は I O F の『オリエンテーリング地図国際図式規程』に適合したものを使用する。特別な表記の使用は、イベント・アドバイザーの同意を必要とする。これらの変更点は、要項 3 に明記される。
 - 18.2 地図印刷後に生じたトレイン内の変化のうち、競技に影響を与えるものは、地図上で修正される。
- (ロング)
- 18.3 ロングに使用する縮尺は 1 万 5 千分の 1 で、等高線間隔は 5 m とする。トレインを適切に表現するため、またはコース設定・競技上の制約等のため、これと異なる縮尺、あるいは、等高線間隔の使用は、イベント・アドバイザーの同意を必要とする。
- (ミドル、リレー)
- 18.4 ミドル、リレーに使用する縮尺は 1 万分の 1 で、等高線間隔は 5 m とする。トレインを適切に表現するため、またはコース設定・競技上の制約等のため、これと異なる縮尺、あるいは、等高線間隔の使用は、イベント・アドバイザーの同意を必要とする。
 - 18.5 競技に影響を与える恐れがあり、かつ、地図からは読み取れないトレイン内のコンディションについては、遅くとも要項 3 で発表される。
 - 18.6 競技用地図は、水分や損傷に耐えるように両面が保護される。
 - 18.7 競技に使用するトレインに過去のオリエンテーリング地図がある場合、これらの地図は、競技に先立ってすべての加盟校及び準加盟校に公開される。
 - 18.8 競技当日は、主管者の許可が出るまでは選手登録者及びチームオフィシャルが競技区域のいかなる地図を利用することも禁止する。

第 19 条 地図上でのコースの表記

- 19.1 競技用地図は、以下のように表記される。
- ・オリエンテーリングの開始地点は、正三角形（1辺7mm）。
 - ・コントロールは、円（直径6mm）。
 - ・フィニッシュは、2重同心円（直径5mmと7mm）。
 - ・誘導区間は、破線。
- 19.2 三角形、及び、円の中心は特徴物の正確な位置を示す。コントロールフラッグが特徴物の周囲に設置される場合でも、特徴物を中心として印刷される。
- 19.3 コントロールは、回る順番を指示するために、南を下にして正立された数字によって示される。
- 19.4 誘導区間がある場所を除き、三角形と円は、直線により、順番に結ばれる。コントロールの円とそれを結ぶ直線は、重要な地図上の表現を見えにくくする場合には、部分的に直線を切ったり、細く描いたりすることができる。
- 19.5 誘導区間は、すべて地図上に示される。誘導区間の終端から再びオリエンテーリングを開始する場合は、地図上で破線の終端と次のコントロールが直線で結ばれる。
- 19.6 コース印刷においては、透明な赤紫色、あるいは赤色を使用する。

第 20 条 その他の追加表記

- 20.1 危険回避のための立ち入り禁止の範囲は、斜めクロスのハッチングをする。その他の理由による立ち入り禁止の範囲は、垂直のハッチングをする。外郭線は以下のように表記される。
- ・現地でテープなどが連続して表示される場合は、実線。
 - ・現地でテープなどが間隔をおいて表示される場合は、破線。
 - ・現地で表示のない場合は、外郭線を記入しない。
- 20.2 通行禁止のルート（自動車道など）は、×の連続で表す。
- 20.3 外向きの2つの括弧）（は、コースに

関した重要通過地点、経路（例：渡河地点、道の下のトンネル）を示すのに用いられる。

- 20.4 追加表記の色は、コースと同一の色とする。

第 21 条 コントロール位置説明

- 21.1 コントロールの位置説明は、I O Fの『コントロール位置説明作成規程』に従って作成する。

- 21.2 コントロール位置説明表は、地図の表面に貼付されるか、印刷される。

(ロング)

- 21.3 ロングのコントロール位置説明表は、競技が開始されるまでに参加者に配布される。

(ミドル)

- 21.4 ミドル予選のコントロール位置説明表は、事前に公表しない。但し、特殊な位置説明記号を用いる場合には、その記号について要項3で公表される。

(ミドル)

- 21.5 ミドル決勝のコントロール位置説明表は、事前に公表しても良い。

(リレー)

- 21.6 リレーで使用されるすべてのコントロール位置説明の一覧は、リレー前日の代表者ミーティングが始まるまでに参加各校の代表者に配布される。但し、コントロールのつながりについては表示されない。

第 22 条 現地における表示

- 22.1 誘導区間は、赤と白の2色のテープにより示される。

- 22.2 立ち入り禁止区域の外郭が表示される場合、青と黄の2色のテープにより示される。

第 23 条 コントロールの設置と器具

- 23.1 すべてのコントロールには、コントロールフラッグが設置される。

- 23.2 コントロールフラッグは、3つの正方形を三角柱状に結合した形とする。それぞれの面は、およそ30cm×30cmで、

対角線によって2分して白とオレンジに色分けする。

- 23.3 コントロールフラッグは、地図上に示された特徴物の場所に、競技者が特徴物にたどり着いたときに見えるようにして設置される。
- 23.4 コントロールは、互いに30m以内に近接して設置してはならない。さらに、特徴物が同じコントロールは、互いに60m以内に近接して設置してはならない。
- 23.5 コントロールは、その場所に競技者がいるかいないかで難易度が変わらないような場所が望ましい。
- 23.6 すべてのコントロールは、数字によるコントロール識別番号で区別される。コントロール識別番号は白地に黒で書かれ、競技者がはっきり読めるように示される。
- 23.7 コントロールの器具は、コース上のすべてのコントロールで同一のものを使用する。十分な数のパンチもしくはユニットをコントロールフラッグのすぐ近くに設置する。
- 23.8 コントロールは、有人であることが望ましい。コントロール役員は、コントロールを通過した競技者のナンバー、及びチェックした時刻を記録する。また、コントロール役員は競技者を妨げてはならず、タイム・順位・その他の情報を与えてはならない。さらにコントロール役員は、静粛に、目立たない服を着用して、競技者がコントロールに接近するのを手助けしてはならない。これらの規則は、ラジオやテレビコントロール役員、給水コントロール役員、報道関係者にも適用される。
- 23.9 優勝設定時間が60分を超える競技は、給水コントロールを設ける。給水コントロールには、飲料水が用意される。

第24条 パンチングシステム

- 24.1 使用するパンチングシステムは、別にこれを定める。
- 24.2 コントロールカードは、競技開始に先

立って競技者もしくは参加各校の代表者に配布される。

- 24.3 競技者は、各コントロールにおいて用意された器具を用いてコントロールカード（電子コントロールカードを含む）に正確にパンチして記印する責任を有する。正確なパンチを故意に怠ることにより利を得ようとした競技者は、失格とされる。
- 24.4 主管者は、いくつかの指定したコントロールで、役員による競技者のコントロールカード検査、及び役員の手による記印を行うことができる。
- 24.5 コントロールカードにパンチされていない、あるいは判別できない場合、この競技者は失格となる。但し、その理由が競技者の過失でないもの（パンチ・ユニットの不調や紛失など）であった場合は、失格とならない。

第25条 スタート

(ロング, ミドル)

- 25.1 ロング, ミドルはプレスタート方式とすることができる。この場合、競技者がスタートへゆっくり走っていった間に合うようにプレスタートを設定する。

(ロング, ミドル)

- 25.2 ロング, ミドルでは、競技者はスタートと同時に自分で地図を取る。

(リレー)

- 25.3 リレーでは、第1競技者はスタートと同時に、以降の競技者はスタート後の地図の支給地点で、自分で地図を取る。
- 25.4 正しい地図を取るのには、競技者の責任である。主管者は、競技者が他の競技者によって妨げられることなく地図を取れるように配慮し、競技者が間違った地図を取らないように充分注意する。
- 25.5 すべての競技者は、最低20分のウォーミングアップをする時間を取れる。スタート前の競技者とチームオフィシャル以外は、ウォーミングアップエリアに入れない。ウォーミングアップエリアは、スタートのできる限り近くに設定する。

- 25.6 オリエンテーリングの開始地点は、地図上で三角のスタート記号で示される。現地にはコントロールフラッグを置く。
- 25.7 オリエンテーリングの開始地点は、地図面あるいは先行する競技者のルート選択が、スタート前の競技者その他に見えないような場所に設定される。必要に応じて、スタートからオリエンテーリングの開始地点までを誘導区間とすることができる。
- 25.8 競技者が自己の責によりスタートに遅刻した場合、到着次第すぐにスタートすることができる。この場合、正規のスタート時刻にスタートしたものととして計時される。但し、正規にスタートする競技者に影響を与える恐れのある場合には、スタートを遅らせることができる。
- 25.9 主管者の責により競技者が遅刻した場合、競技者は、新しいスタート時刻を与えられる。

(リレー)

- 25.10 リレーでは、次競技者は引継を受ける3分以上前に、前競技者が近づいたことを告知される。但し、主管者は告知に問題があっても責任を負わない。

(リレー)

- 25.11 リレーにおいて、次競技者への引継は、計時線を越えたあとの指定された区域（チェンジオーバーエリア）で、両競技者の接触により行う。

(リレー)

- 25.12 リレーにおいて、運営を円滑に行うために、優勝の決定後であれば、未出走の競技者をマススタートで出走させることができる（リスタート）。

第26条 フィニッシュ

- 26.1 計時線は、フィニッシュへの走路に対して直角とする。
- 26.2 計時線は、競技者が遠くから識別できるようにになっていなければならない。
- 26.3 計時線を通過した競技者は、コントロールカードと、パンチ記印のついたあらゆるもの（例：コントロールカード

ケースなど）をフィニッシュ役員に手渡す。リレーでは、地図とコントロール位置説明表も手渡す。

- 26.4 フィニッシュ閉鎖時刻は、事前に発表される。

26.5 フィニッシュ地点には、救護所を置く。

第27条 計時と順位

- 27.1 フィニッシュ時刻は、計時線のところで計られる。その時刻は、競技者の胸が計時線を横切った時刻、あるいは競技者が計時線上でパンチした時刻とする。計時は秒単位まで行う。秒以下については切り捨てる。タイムは、時・分・秒、あるいは、分・秒のどちらかで表示される。

- 27.2 コントロールを抜かした場合（あるいは、間違ったコントロールをチェックした場合）、また、指定された以外の順番でコントロールを回ったことが判明した場合には、競技者は失格となる。

(ロング, ミドル)

- 27.3 ロング、ミドルでは、2人以上の競技者が同タイムの場合、これらの競技者は同順位となる。成績表・報告書の中で彼らは同順位となるが、スタート順に並べられる。また、この場合次の順位は空位とする。

(リレー)

- 27.4 リレーでは、チームの全競技者の合計タイムがそのチームの成績となる。チームの順位は、最終競技者のフィニッシュした順番により決定される。着順判定員が順位判定を下す。同着はない。

- 27.5 リスタートをしたチームは参考記録とする。

- 27.6 競技時間は、ロングでは2時間30分まで、ミドル予選・決勝では60分までとする。この時間を超えた競技者は失格とする。リレーでは5時間までとする。この時間を超えたチームは失格とする。

第28条 服装と用具

- 28.1 主管者が定めない限り、服装の選択は

- 自由である。
- 28.2 ナンバーカードは、競技中常にはっきり見えるようにして、胸と背中に着用する。ナンバーカードの大きさは、25×25cm を超えないものとする。数字は、最低でも 10cm 以上の高さが必要である。
- 28.3 競技中は、コンパス、時計と、主管者から支給された地図、コントロールカード、コントロール位置説明表のみ使用してよい。その他のオリエンテーリングの技術的な補助器具の使用は禁止する。

第 29 条 競技上の公正

- 29.1 インカレに関与するすべての者は、公正と正直を旨に行動しなければならない。スポーツ精神と友情を忘れてはならない。競技者は、他の競技者、役員、報道関係者、観客、テレインや大会区域に居住する人たちを尊重しなければならない。
- 29.2 主管者は、イベント・アドバイザーの同意を得て、前もって競技を行うテレインの位置を公表するとともに、立入禁止区域を設定することができる。テレインの位置を公表しない場合、すべての役員は、大会区域とテレインを厳重に秘密にしておかなくてはならない。
- 29.3 選手登録者及びチームオフィシャルは、競技を行うテレインにあらかじめ立ち入ることは禁止される。主管者により発表された事項以上のコースに関する情報を得ようとすることは、禁止される。
- 29.4 競技中は、以下の行為を禁止する。
- ・外部からの助力を得ること
 - ・共同で走り、方向決定を行うこと
 - ・故意に他の競技者を追走し、その競技者の能力を利用しようとする
 - ・他の者から情報を得ようとする
- 29.5 競技者は、一度計時線を越えたら、主

管者の許可なく競技区域に入ってはいけない。

- 29.6 棄権した競技者は、フィニッシュを必ず通過し、コントロールカードを主管者に渡さなければならない。また、この者は、決して競技に影響を及ぼしてはならず、他の競技者を助けてはならない。
- 29.7 あらゆる種類の移動手段の利用は、禁止される。
- 29.8 参加者及び主管者は、競技を妨害してはならない。
- 29.9 インカレ実施規則を犯したことが判明した競技者は、失格となる。

第 3 章 運営に関する規則

第 30 条 インカレ実行委員会

- 30.1 インカレは、インカレ実行委員会が主管する。
- 30.2 インカレ実行委員会は、当該インカレの 1 年前までに理事会の承認のもとで組織される。

第 31 条 秘密保持

- 31.1 主管者、イベント・アドバイザー及びその補佐、その他テレインやコースを知る者は競技上の公正さを保つための秘密を保持する義務を負う。

第 32 条 経費

- 32.1 インカレ運営に関する経費は、主催者が支出する。
- 32.2 主催者は、参加者から参加費を徴収することができる。

第 33 条 裁定委員会

- 33.1 裁定委員会は、異なる出身校の 3 名で構成される。裁定委員は、理事会が指名し、競技の前日までに全員の氏名が公表される。裁定委員は、大会組織に関与してはならない。
- 33.2 裁定委員会の審議には、イベント・アドバイザーと主管者の代表は参考人と

して出席することができる。

- 33.3 裁定委員会は、大会中に起きた規則あるいはその他の問題に対する提訴に裁定を下す。裁定委員会の審議は、3人全員の出席をもって成立する。任務を遂行できない裁定委員があったときには、理事会は代理を指名しなければならない。
- 33.4 裁定委員会の判断は最終的なものである。

第34条 イベント・アドバイザー

- 34.1 イベント・アドバイザーは、日本学連を公式に代表し、主管者に対して派遣される。
- 34.2 イベント・アドバイザーは、技術委員会の助言のもとに、技術委員会の委員の中から理事会が指名する。指名は、当該インカレの1年前までに行われる。
- 34.3 イベント・アドバイザーの主な任務は、インカレ実施規則が遵守されていることを確認することである。また、必要のある事項については技術委員会との協議を行う。
- 34.4 イベント・アドバイザーは、インカレが適正に行われるように、少なくとも以下の任務を遂行する。
- ・ 要項の内容を確認すること
 - ・ 会場、トレインの適格性を確認すること
 - ・ スケジュール全体（宿泊、食事、輸送、日程、費用、トレーニングの機会）を確認すること
 - ・ スタート、フィニッシュ、チェンジオーバーエリアのシステムとレイアウトを確認すること
 - ・ 計時システムの信頼性と正確性を判断すること
 - ・ 地図が規定に合致しているか確認すること
 - ・ 地図の正確さ、作図・印刷の妥当性を確認すること
 - ・ コースの適格性（距離、競技時間、難易度、コントロール位置と設置状態、偶然性の排除な

ど）を確認すること

- ・ リレーにおいては、コースの分割方法と組み合わせが適切かどうか確認すること
 - ・ コントロール位置説明が適切かどうか確認すること
 - ・ 式典が適切かどうか判断すること
 - ・ 競技への影響の可能性の観点から、報道関係者、観客等に対する処遇を確認すること
 - ・ 運営組織、人事、会計及び競技運営全般を確認すること
- 34.4 インカレ開催中、イベント・アドバイザーは、大会会場に常駐し、以下の任務を遂行する。
- ・ 主管者に対して助言を与えること
 - ・ 裁定委員会の提訴に関わる審議を補佐すること
- 34.5 イベント・アドバイザーは、以上の他に自分の裁量で、インカレの準備と実行に関係ある活動を確認する。
- 34.6 イベント・アドバイザーは、必要に応じて任務を補佐する者を指名することができる。イベント・アドバイザー補佐は、特に、地図作成、コース、イベント、運営組織、人事、会計、スポンサー、メディア等のうち、イベント・アドバイザーが必要と考える分野において、任務を補う。
- 34.7 イベント・アドバイザーとイベント・アドバイザー補佐に関わる経費は、主催者が直接に支出する。

第35条 報告

- 35.1 主管者は、当該インカレ開催後2週間以内にイベント・アドバイザーに以下のものを送付する。
- ・ 公式成績
 - ・ 各競技部門のコース図および全コントロール図
 - ・ その他必要と思われる資料
- 35.2 イベント・アドバイザーは、当該インカレ開催後3カ月以内に幹事会、理事

会及び技術委員会にその活動の報告を送付する。

- 35.3 主管者は、すべての要項とプログラム、大会報告書を日本学連事務局に送付する。日本学連事務局は、これらを資料として保存する。

第 36 条 メディア・サービス

- 36.1 主催者および主管者は、メディア取材者に対して、報道するに好都合な機会を提供することが望ましい。
- 36.2 主管者は、競技の公平さを損ねない限りにおいて、メディアの報道のために

最大限の努力をすることが望ましい。

第 37 条 改正

- 37.1 本規則の改正は総会の議決による。

第 38 条 施行

- 38.1 本規則は 2004 年 4 月 1 日より施行する。
- 38.2 本規則は 2004 年 11 月 8 日より改正施行する。

2003 年 11 月 15 日 制定

2004 年 11 月 6 日 改正